日韓・韓日双方向翻訳

すらすら翻訳
東京⇄ソウル
Light

韓国の最新インターネット情報をリアルタイムで翻訳

TOKYO SEOUL

●●●ワンクリックで近くなる韓国●●●

日韓・韓日双方向翻訳
すらすら翻訳　東京↔ソウル
ユーザーズガイド

Copyright@2001　by　Universal　Soft　Co.,　Ltd.＆UNIKOTECH Co.,Ltd.
All　Rights　Reserved

2001年11月　第1版

本書に記載されている内容は、通知することなく変更される事があります。
ユニバーサルソフト情報通信(株)及びユニコテック(株)は、本書のいかなる内容にも責任を負いません。
すらすら翻訳　東京↔ソウルは使用許諾契約書に指定されている条件を満たす場合のみ、使用することができます。
ユニバーサルソフト情報通信(株)及びユニコテック(株)は、本書内の誤植などには責任を負いません。
本書のあらゆる部分は、ユニバーサルソフト情報通信(株)及びユニコテック(株)の文書による明確な許可がなければ、いかなる形態、いかなる手段であっても複製および転載することができません。
すらすら翻訳　東京↔ソウルはユニバーサルソフト情報通信（株）及びユニコテック(株)の登録商標及び商品です。

言語の名称について、日本における名称は「朝鮮語」、「韓国語」、「ハングル」といろいろありますが、本書では言語の名称は「韓国語・　朝鮮語」とします。さらに「韓国語・朝鮮語」は「ハングル」と「ハンチャ（漢字）」で構成されるものとして説明します。

使用許諾契約書

ユニコテック株式会社（以下「弊社」という）は、本契約とともに提供するソフトウェアに関し、お客様（個人または法人のいずれかであるかを問いません）に対してソフトウェア使用許諾契約書を設けております。ソフトウェアの使用を開始することをもって、お客様は契約に同意したことになります。下記内容を十分にご確認いただき、お客様も本契約書の条項にご同意いただくものとします。

1．定義

⑴ソフトウェアとは、コンピュータ・プログラム及び付属文書一式をいいます。

⑵関係資料とは、本製品に含まれる取扱説明書、その他全ての 印刷物をいいます。

2．使用許諾

⑴お客様は、この契約の内容に従うことを条件に、本プログラムおよび関連資料を、日本国内で使用することができます。

⑵弊社は本ソフトウェアを1台のコンピュータで使用する権利を、お客様に対して許諾します。「使用する」とは、コンピュータのRAMなどの一時メモリに読み出すこと、及びコンピュータのハードディスクなどの固定メモリに組み込むことを言います。 複数のコンピュータ上において本ソフトウェアを使用する場合には、同時に使用しない場合であっても、使用するコンピュータと同じライセンス数の使用許諾を受けなければなりません。本ソフトウェアをネットワークその他の方法により複数のコンピュータで使用する場合には、必要本数をご購入いただかなければなりません。また、本ソフトウェアを異なるコンピュータ間で共有したり、同時に使用することはできません。

3．著作権

このソフトウェアの著作権は、弊社が有するものであり、どのような形であれ、お客様の手による複製は禁止されています。本ソフトウェアは著作権法で保護されています。

4．禁止事項

(1)お客様は本契約に基づき、本ソフトウェア及び関係資料の全部または一部を、改変、翻訳、互換製品の作成、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルすることは禁止されています。

(2)如何なる場合においても、お客様は本ソフトウェアおよび関係資料の譲渡、貸与、第三者への再使用許諾はできません。また本契約上の地位も移転できません。

5．保証制限

(1)本ソフトウェアは、一切の保証を伴わない現状渡しで提供されるものとし、弊社は、本ソフトウェアの機能、性能、品質がお客様の特定の用途、利用目的に適合していることを含むいかなる明示もしくは黙示の保証を行いません。

(2)弊社は物理的な損失、盗難、事故による損害、誤用等の保証は行いません。またお客様が使用する機器（ハードウェア）の損害につきましても、弊社は一切責任を負いません。また、弊社が、かかる損害について知らされていた場合についても同様です。

(3)弊社は本ソフトウェアの使用によりお客様または第三者が被った直接的、または間接的ないかなる損害についても責任を負わないものといたします。また、弊社が、かかる損害について知らされていた場合についても同様です。

6．契約の成立

本契約は、お客様が本ソフトウェアの使用を開始した日より発効します。

7．契約の終了

お客様が本契約のいずれかに違反した時は、弊社は事前の通知なしに本契約を終了させることができるものとし、お客様は速やかにお客様のご負担でソフトウェアを消去し関係資料を弊社に返却いただくこととします。その場合、代金はご返却いたしません。

８．その他

⑴本製品は改良のため予告なしに変更されることがあります。

⑵本ソフトウェア使用許諾契約書に定められていない事項については、著作権法および関連法規に従うものといたします。

⑶本ソフトウェア使用許諾契約について紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

目　次

第1部 プログラムの紹介とインストール

第1章 プログラムの紹介

第2章 プログラムのインストール

第3章 プログラムのアンインストール

第2部 すらすら翻訳　東京↔ソウルーInternet（インターネット翻訳）

第1章 プログラムの使用方法

1-1 起動方法

1-2 ツールバーの機能

1-3 インターネットエクスプローラ 挿入型ツールバー

第2章 日本・韓国のホームページ翻訳

2-1 翻訳方法

2-2 翻訳結果の同時表示

2-3 ドラッグ指定の部分翻訳

2-4 トレイ登録

2-5 クリップボード翻訳

2-6 電子メール翻訳

2-7 Magic Pen(検索窓･掲示板直接入力機能)

第3章 環境設定ダイアログボックス

第4章 エラーメッセージ及び対処
第5章 使用上の注意点

第3部 すらすら翻訳 東京↔ソウルKJ(韓日テキスト翻訳)
第1章 画面構成と各部の概要
1-1 メインウィンドウ構成
1-2 メインウィンドウで利用できるメニュー
1-3 標準ツールバー
1-4 原文ウィンドウ/訳文ウィンドウのツールバー
第2章 メニューコマンド
2-1 ファイル(F)
2-2 編集(E)
2-3 表示(V)
2-4 翻訳(T)
2-5 辞書(D)
2-6 連結メニュー
第3章 操作方法
3-1 翻訳実行
3-2 一括翻訳
3-3 翻訳設定
3-4 ウィンドウの分割
3-5 翻訳結果
3-6 韓国語の発音表記
3-7 専門辞書

第4章 ユーザー辞書
4-1 ユーザー辞書の登録
4-2 修正
4-3 検索
第4部 すらすら翻訳 東京↔ソウルーJK（日韓テキスト翻訳）
第1章 画面構成と各部の概要
1-1 メインウィンドウ構成
1-2 メインウィンドウで利用できるメニュー
1-3 標準ツールバー
1-4 原文ウィンドウ/訳文ウィンドウのツールバー
第2章 メニューコマンド
2-1 ファイル（F）
2-2 編集（E）
2-3 表示（V）
2-4 翻訳（T）
2-5 辞書（D）
2-6 オプション（S）
第3章 操作方法
3-1 翻訳実行
3-2 翻訳設定
3-3 一括翻訳
3-4 韓国語の発音表記
第4章 辞書
4-1 ユーザー辞書
4-2 単語登録・検索

4-3 単語変更
4-4 辞書一覧
4-5 品詞指定
第5章 付録
5-1 システムの特徴
5-2 翻訳に適当な日本語文書

第１部

プログラムの紹介と
インストール

第1章 プログラムの紹介

すらすら翻訳　東京↔ソウルLight（以下東京↔ソウルLight）のプログラムは次のように構成されています。

－東京↔ソウル－ Internet （インターネット翻訳）
－東京↔ソウル－ KJ （韓日テキスト翻訳）
－東京↔ソウル－ JK （日韓テキスト翻訳）

東京↔ソウルLightは、韓国語と日本語の言語の壁を乗り越え、インターネットの世界をより広げるための日韓/韓日の双方向翻訳ソフトウェアです。ネットサーフィンをしながら出会った韓国語のホームページの翻訳は勿論、テキストも楽々翻訳します。

すらすら翻訳　東京↔ソウルの動作環境

OS	Windows98/Me/NT4.0/2000/XP		
CPU	Intel製Pentium以上のチップおよびIntel互換チップ		
メモリ	64MB以上（128MB以上推奨）		
ハードディスク	翻訳	読取	入力
	50MB以上	50MB以上	45MB以上

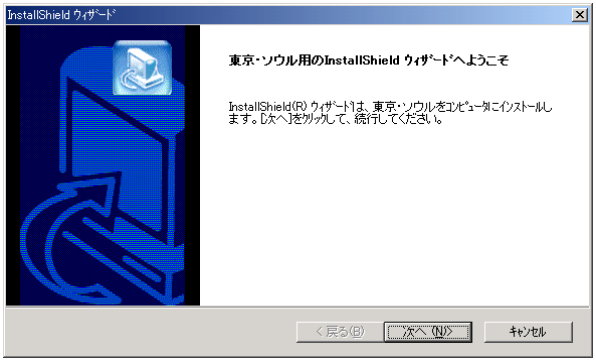
第2章　プログラムのインストール

すらすら翻訳　東京↔ソウルLightのインストールについて説明します。
起動中のアプリケーションおよび常駐しているアプリケーションがある場合は、それらのアプリケーションを終了させて、次の手順でインストールしてください。

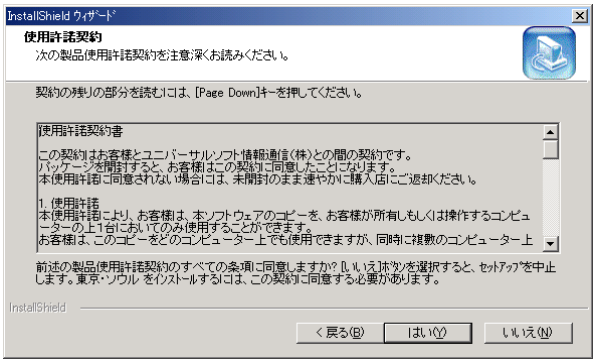
■ 東京↔ソウルLightのインストールプログラムフォルダ内のSetup.exeを起動します。

すらすら翻訳　東京↔ソウルLightのインストール

1. インストール開始の画面が表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

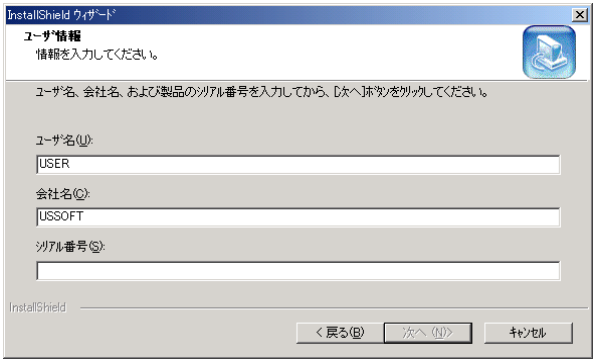


2. 使用権の契約



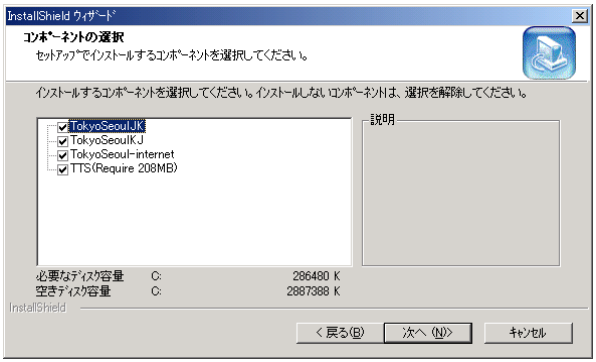
使用権の契約内容に同意する方は「はい」ボタンをクリックして下さい。「いいえ」をクリックすると東京↔ソウルLightのインストールは中断されます。

3. ユーザー情報及びシリアル番号の入力



ユーザー名と会社名、シリアル番号を入力後、「次へ」ボタンをクリックします。

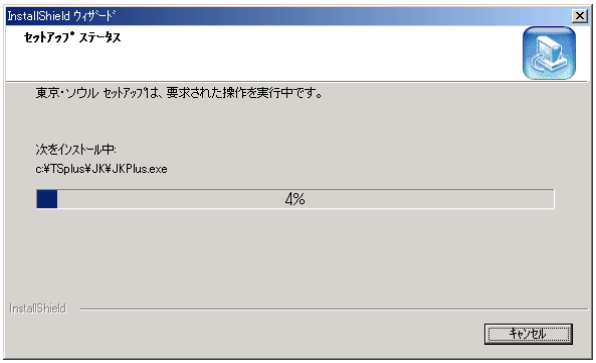
4. プログラムの選択



「次へ」ボタンをクリックします。

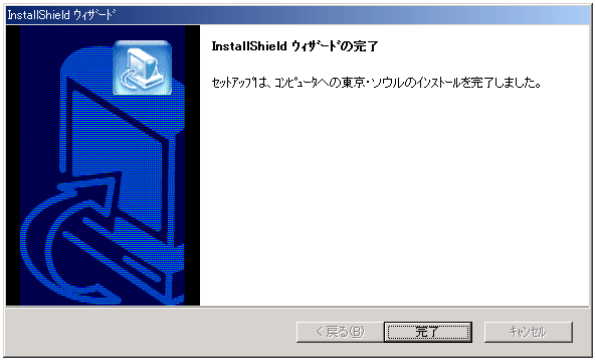
☞ 3つのプログラムの中でインストールしたくないプログラムはチェックボックスのチェック表示を解除して「次へ」をクリックしてください。

5. ファイルのコピー



ファイルコピーの進行状況を表示します。キャンセルをクリックすると設置は中断されます。

6. インストール完了



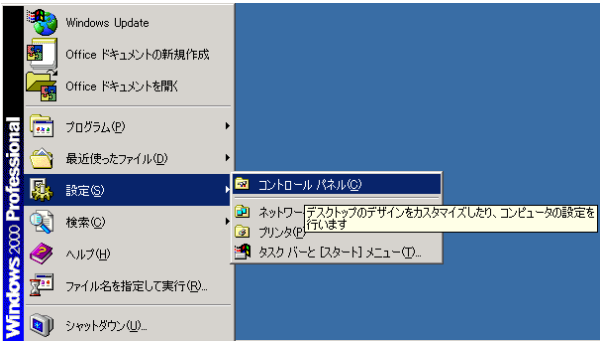
この画面が表示されれば、設置が正常に完了したことを意味します。完了をクリックしてください。

第3章　プログラムのアンインストール

一度インストールしたプログラムを削除するためには、次のような
操作を行ってください。

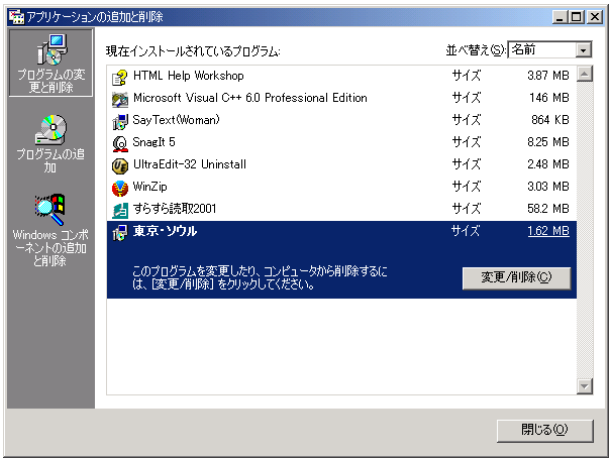
すらすら翻訳　東京⇔ソウルLightのアンインストール

(1)「スタート」ー「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。



(2)コントロールパネル内の「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

(3) 表示された画面で、東京↔ソウルを選択し、「変更/削除」をクリックします。



(4) 削除確認のメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。東京↔ソウルが削除されます。

第２部

すらすら翻訳

東京↔ソウル−Internet

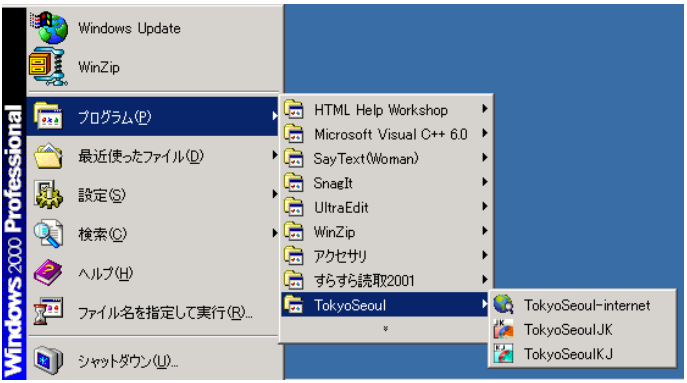
（インターネット翻訳）

第1章. プログラムの使用方法

1-1 起動方法

（1）タスクバーの「スタート」をクリックします。

（2） 表示されたメニューから「プログラム」→ 「東京↔ソウル」「東京↔ソウル-Internet」 をクリックします。



※ 東京↔ソウルをインストールすると自動的に画面にプログラムのアイコンが表示されます。この画面上のアイコンから起動することもできます。

1-2 ツールバーの機能

(1)基本機能

自動整列

ツールバーをモニターの左上の端に固定します。

最小化

プログラムを最小化します。

設定

オプションダイアログで各種のユーザー設定ができます。

翻訳（Ctrl+G）

- 現在開いている最上位のエクスプローラの文書を翻訳します。
- 日韓翻訳、韓日翻訳のいずれかを「設定」で選択します。
- 自動設定にすると、ホームページの言語(原文)を自動的に判断し、翻訳を実行します。
- 翻訳中にエクスプローラのURLを変更すると翻訳は中止されます。
- 翻訳時、新しいエクスプローラが最上位にきた時は、既にあるエクスプローラではなく、新しく開かれた最上位のエクスプローラを翻訳します。

中止

- 進行中の翻訳作業を中止します。

エクスプローラ

- エクスプローラを起動させます。

部分翻訳(Ctrl+Shift)

- エクスプローラで閲覧中の文書からユーザーが選択したテキストだけを翻訳します。
- 文書の一部だけを翻訳したい場合、原文と翻訳文を同時に表示し、翻訳時間も短縮するこの機能をご活用ください。

ヘルプ

- 現在閲覧中のヘルプファイルを開きます。

拡張メニューの開閉

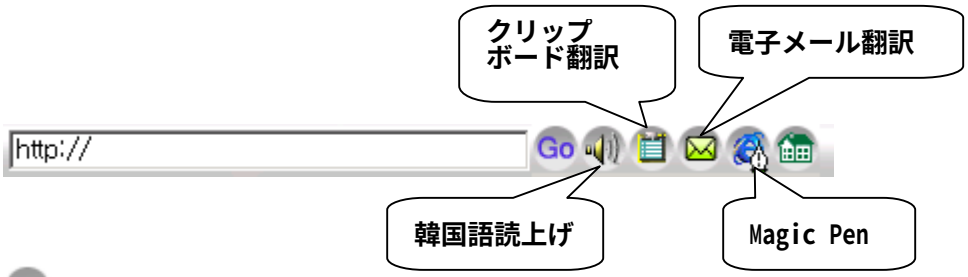
- 基本メニュー以外の拡張メニューを開いたり閉じたりします。
- 拡張メニューはクリップボード翻訳、 電子メールの読み書き、掲示板の直接入力、URLの書き込みなどがあります。

終了

- プログラムを終了させます。
- 環境設定でトレイの登録を選択している場合、メニューバーが画面から

消えるだけではプログラムは完全に終了しないので、必ずトレイ登録されたアイコンを右クリックし終了させます。ツールバーを再び表示するには、トレイに登録されたアイコンをクリックします。

(2) 拡張機能



Go ホームページのアドレス(URL)入力ウィンドウ

- ホームページのURLを直接入力し、Goをクリックするとエクスプローラでご希望のホームページを開くことができます。

クリップボード翻訳

- 韓国語/日本語のいずれも、1,000字までのテキストを選択、コピーし、クリップボード上で翻訳します。

電子メール翻訳

- 日本語、韓国語の電子メール文を双方向に翻訳することにより、読み書きを支援します。
- 「メールを読む」を選択すると、アウトルック・エクスプレス、又はアウトルッ

クの受信ボックスに受信されたリストが表れます。

- 「メールを書く」を選択すると、韓国語の入力画面と日本語の翻訳画面が開きます。韓国語の入力画面にメールの本文を入力した後“韓日翻訳”ボタンをクリックすれば、日本語のメール文が完成します（逆方向も支援します）。

Magic Pen（掲示板等の直接入力機能）(Ctrl + 1)

- 簡単な韓日テキスト翻訳も行えます。
- 韓国のホームページ上の掲示板、検索窓などに日本語で直接書き込み、瞬時に韓国語に翻訳します。

韓国語読上げ（TTS）

- 翻訳された韓国語を韓国女性の音声で読み上げます.
- 読ませたい韓国語のテキストをドラッグ、範囲選択をしてツールバーのボタンをクリックすると、選択した部分の韓国語が読み上げられます.

ホームページ

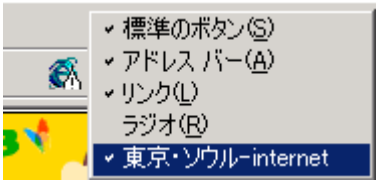
- 開発元ユニバーサルソフト情報通信のホームページ(www.ussoft.co.kr) に接続されます。

1-3 インターネットエクスプローラの挿入型ツールバー

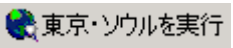
エクスプローラのツールバーに東京↔ソウル-Internetのツールバーメニュー中、一部を挿入し、その機能を簡単に実行します。

（1）エクスプローラ挿入ツールバーの表示、非表示

ツールバーの位置でマウス右側をクリックし、表示されるポップアップメニューの東京↔ソウル-Internetを選択またはキャンセルすることにより、エクスプローラのツールボックスにツールバーを表示したり、または非表示にしたりできます。



（2）ツールバーのボタン別機能



挿入ツールバーの翻訳メニューを使用する場合、まず東京↔ソウル-Internetを実行します。挿入ツールバーの「東京↔ソウルを実行」ボタンを押して東京↔ソウル-Internet を実行してください。また、環境設定でトレイ登録を選択すると、翻訳する度にこのボタンをクリックする必要はなくなります。

第2章　日本·韓国のホームﾍﾟｰｼﾞ翻訳

2-1　翻訳方法

（1）エクスプローラを実行します。

ツールバーの をクリックし、ご希望のホームページのアドレスを入力します。

※文字化けが発生した場合には、「表示」－「エンコード」（又は、「表示」－「エンコード」－「その他」）で「韓国語」を選択します。

（2）ツールバーの翻訳ボタン をクリックします。

- 東京↔ソウル-Internetのツールバーの翻訳ボタン又は「Ctrl+G」ボタン（短縮キー）を押すとホームページが翻訳されます。

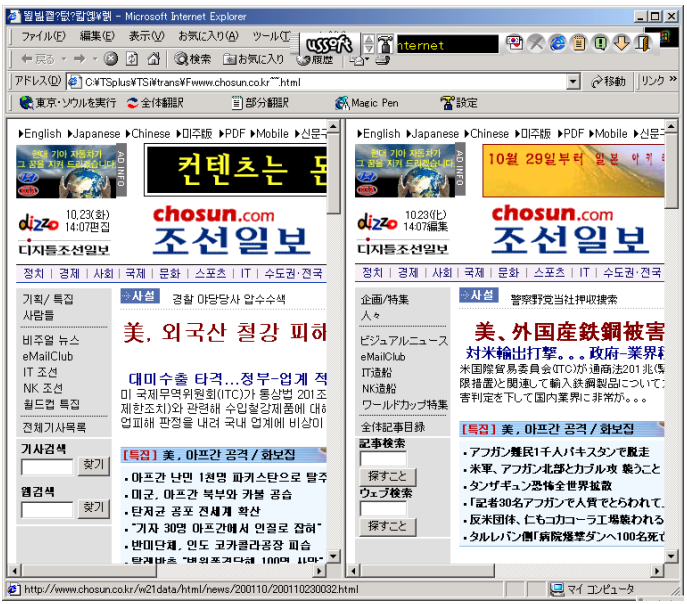
- 翻訳設定で原文に対する自動設定を選択すると韓国語のホームページは日本語に、日本語のホームページは韓国語に翻訳されます。

☞ 韓国語サイトによって、一部翻訳できないページがあります。

2-2 翻訳結果の同時表示

（1）翻訳ウィンドウの画面最後に、下図のようなバーが表れます。

（2）原文と訳文の同時表示ボタン 対訳表示 をクリックします。



- 翻訳結果の表示方法を、翻訳画面の最下段の部位に表れる二つのボタン、「原文表示」と「対訳表示」から選択することができます。

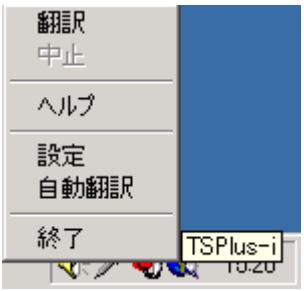
2-3 ドラッグ指定の部分翻訳

(1) マウスをドラッグして範囲を指定します。

(2) 部分翻訳ボタン をクリックします。

- エクスプローラ上で翻訳したい部分をドラッグします。
- 東京↔ソウル-Internetの部分翻訳か、Ctrl+Shiftキーを押すとフレームが表れ、翻訳結果を対訳表示します。
- 翻訳結果は原文でも翻訳文でもマウスの右側のボタンをクリックし印刷することができます。
- 部分翻訳は韓国語、日本語を自動的に判断し翻訳を実行します。

2-4 トレイ登録



- 環境設定で「トレイ登録」を設定すると、東京↔ソウル-Internetのアイコンがトレイに登録されます。トレイにマウスポインタを合わせてマウスの左側をクリックすると、東京↔ソウル-Internetのツールバーが出ます。マウスを右クリックすると東京↔ソウル-Internetで実行できるメニューが表示されます。

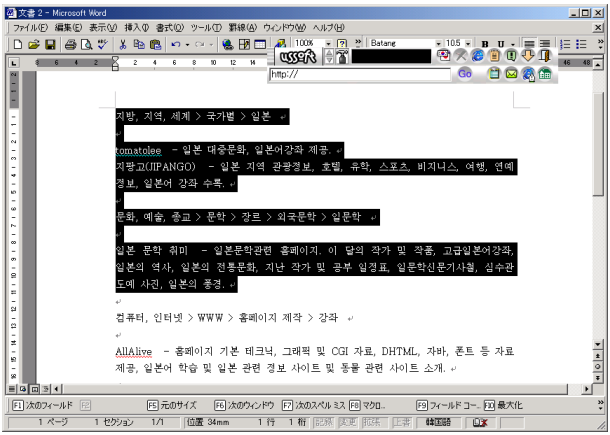
- トレイのアイコンからそれぞれの機能を呼び出せます。また、翻訳短縮キー(Ctrl+G)及び部分翻訳短縮キー(Ctrl+Shift)操作でも作動します。

- トレイに登録された場合は、本プログラムの終了ボタン をクリックしてもプログラムは完全に終了しません。完全に終了するには必ずトレイで終了しなければなりません。

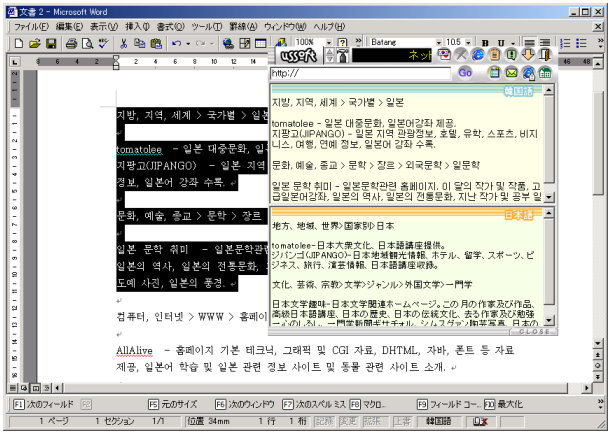
2-5 クリップボード翻訳

(1) クリップボードに載せる

エクスプローラ、アウトルック、パワーポイント、MSワード、韓国語、ワードプロセッサー等から日本語あるいは韓国語で表示されたテキストの部分をドラッグして選択し、コピー(Ctrl+C)する。



(2)クリップボード翻訳ボタン をクリックします。



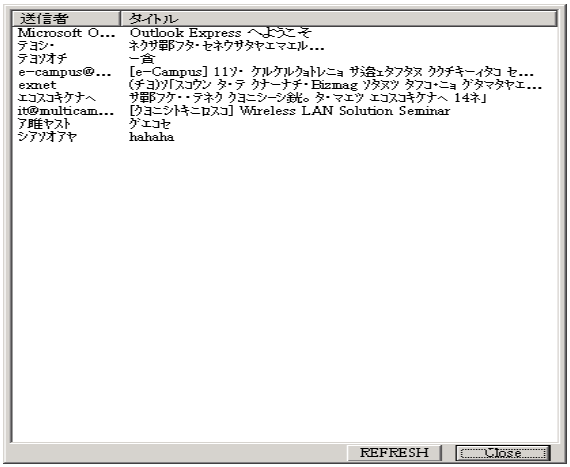
(3)翻訳結果が対訳表示されます。

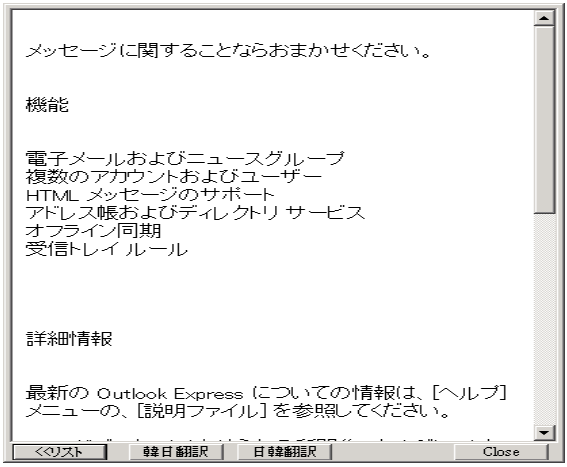
2-6 電子メール翻訳

■ メールを読む

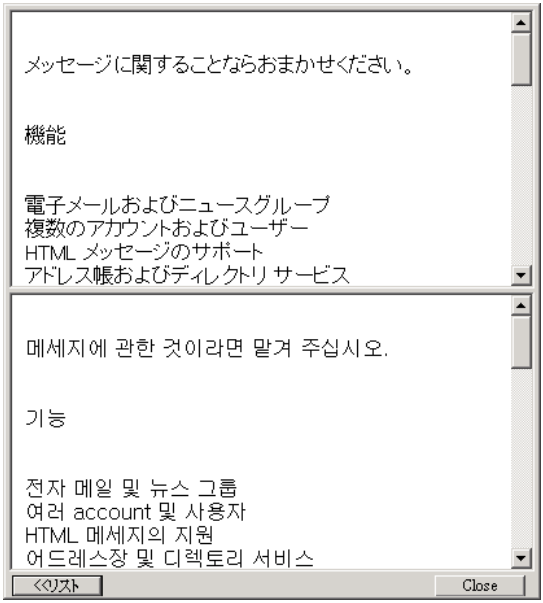
(1) メールボタン をクリックし、メールを読むを選択します。

(2) メールリストが表れます。一番最近のメールが一番下に表れます。その中で翻訳したいメールの送信者名をダブルクリックします。





(3)メールの内容が表れ、下の方には「韓日翻訳」と「日韓翻訳」ボタンが出てきます。送られたメールの原文が韓国語なのか、日本語なのかを判断して翻訳方向を選んでください。 次のような翻訳結果が得られます。



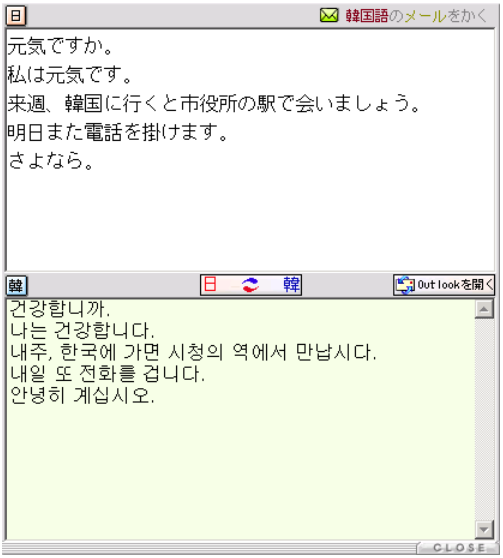
☞ メールはアウトルックやアウトルック・エクスプレスで受け取ったメールだけをロードするので、必ずメールアカウントを設定して頂くようお願い致します。

(4) 翻訳結果を印刷する場合は、マウスの右側をクリックして印刷を選択して下さい。

☞ 受信箱にメールがいっぱいになるとメールの読み込みが遅くなる場合があります。少々時間がかかってもプログラムがダウンになったのではありません。受信メールを別のフォルダーに移動、削除の形で受信箱を整理するとメールの読み込みが速くなります。

■ メールを書く

(1) メールボタン をクリックして「メールを書く」を選択します。



(2) 日本語の入力後、日韓翻訳ボタン をクリックします。

上の欄に日本語で文章を書き、真ん中の日韓翻訳ボタンをクリックすると下の欄に韓国語に翻訳された文章が表示されます。

(3) アウトルックを開くボタン

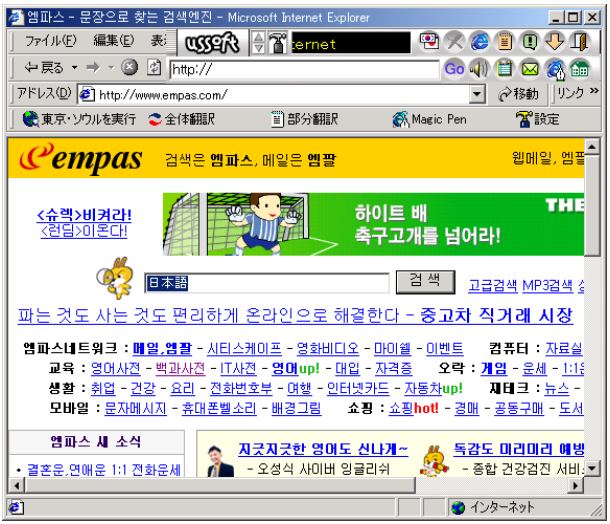
をクリックします。

アウトルック・エクスプレスのメールの新規作成ウィンドウを開き、ここに、翻訳された韓国語の文章をコピーして(Ctrl+C)貼り付けた(Ctrl+V)後、メールを送って下さい。

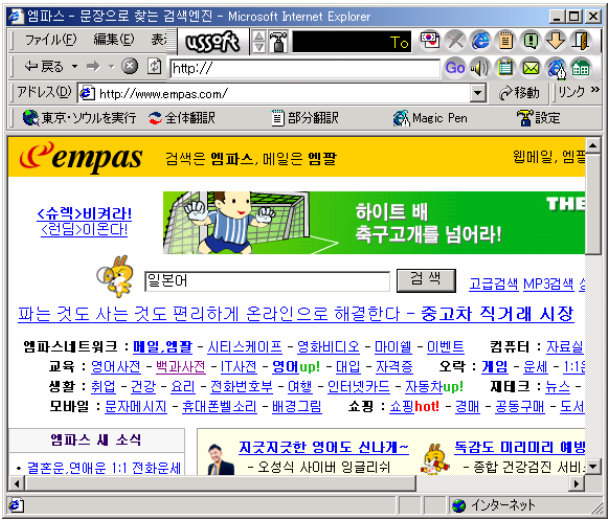
2-7 Magic Pen(検索窓·掲示板直接入力機能)

■ 韓国語のホームページに検索入力

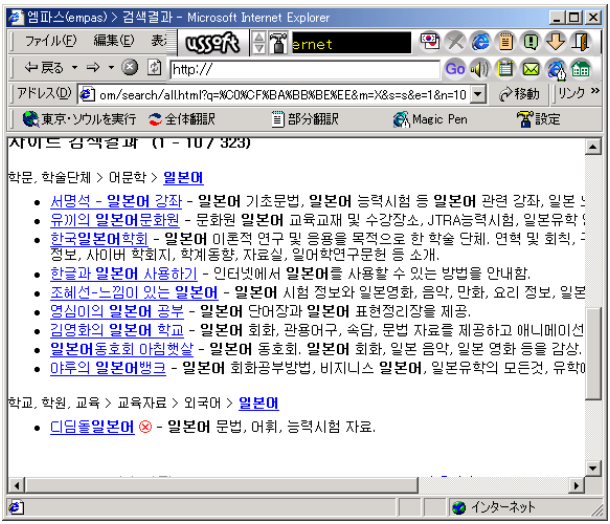
(1) 韓国語サイトの検索欄に日本語を入力し、ドラッグして選択します。



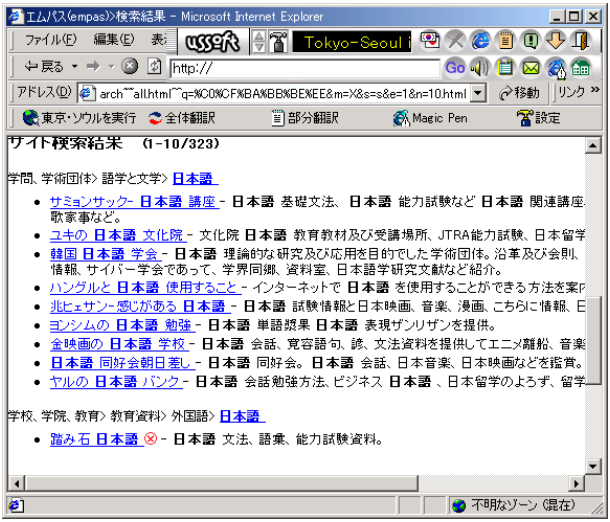
(2) Magic Pen をクリックします。韓国語に翻訳されます。



(3)ホームページの検索アイコンをクリックします。

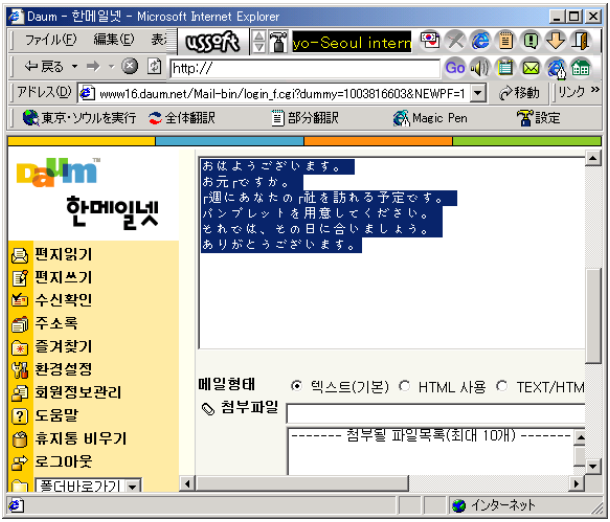


(4) 翻訳ボタン をクリックすると、検索されたページが日本語に翻訳されます。

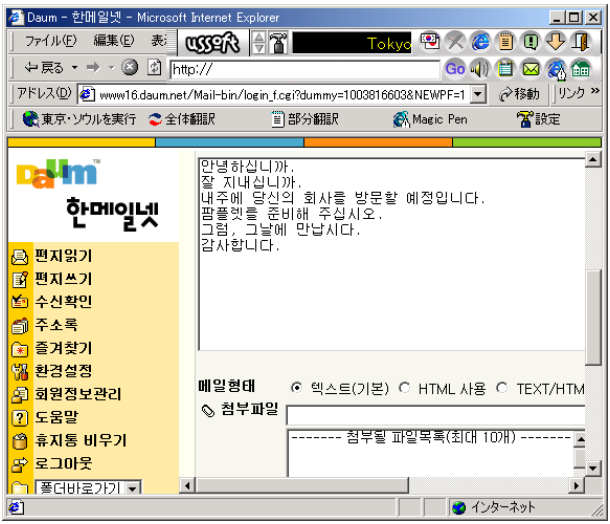


■ 韓国語のホームﾍﾟｰｼﾞの掲示板等に韓国語を入力

(1) 日本語で文章を作成した後、ドラッグします。



(2) Magic Penボタン をクリックすると韓国語に翻訳されます。



※ この機能を使用すると、上記で説明した検索欄、掲示板入力欄だけでなく、ホームページ上の様々な場面で韓国語を日本語に、日本語を韓国語に変換します。ホームページ上で簡単に部分翻訳をする場合もこの機能を使用して頂くことができます。

※ 知っているとより便利な短縮キーの目録

翻訳	Ctrl + G
部分翻訳	Ctrl + Shift
Magic Pen	Ctrl + 1
コピー	Ctrl + C
貼り付け	Ctrl + V

第3章　環境設定のダイアログボックス

3-1　翻訳言語の設定

(1) 翻訳する原文の言語を韓国語、日本語、自動設定の中から指定します。

(2) 自動設定が選択された場合、該当するホームページが韓国語のサイトなのか日本語のサイトなのかを自動的に判断します。

3-2. 翻訳設定

(1) 翻訳ページを再び翻訳しない(翻訳ファイルのキャッシュ機能)

- 一度翻訳された文書は翻訳ファイルに保存されここから呼び出されるので、翻訳より早い速度でファイルが開けます。
- 新しく更新された場合は自動的に判断し翻訳するので、ユーザーの操作なしに、いつでも新しいホームページをご覧になれます。
- 保存された翻訳ファイルが増え過ぎますと、ファイル探索時間と翻訳

時間の差がなくなります。速度が遅くなったと感じたら、設定メニューで「翻訳ファイルをクリア」して頂くようお願い致します。

(2) 自動翻訳

- 新しいホームページを開くと該当する内容を自動的に翻訳します。
- 翻訳作業がしきりに反復されるのは、該当するホームページが自動的に更新されるホームページであるからです。翻訳を反復したくない場合は翻訳中止ボタンをクリックして下さい。
- ホームページを移動する時に翻訳されていない部分が生じた場合は、翻訳ボタンをクリックして頂くようお願い致します。

3-3 プログラム設定

(1)常時手前に

常時、プログラムを画面の前面に表示します。

(2)エクスプローラに付ける

エクスプローラと東京↔ソウル-Internetが常に一緒に動くように設定します。

(3)トレイに登録

- トレイに登録されるとプログラムがRAMに常時存在し、いつでもプログラムを簡単に呼出すことができます。プログラムのロード時間が短縮されます。
- トレイに登録されたアイコンにマウスを左クリックするとメニューバーが開き、右側をクリックすると実行メニューが表れます。各々の機能はメニューバーの機能と同じであり、自動翻訳をすぐに設定解除することができ、設定に関係なく韓日·日韓翻訳を行えます。
- プログラムを完全に終了させる場合はトレイのアイコンでマウス右側をクリ

ックした後、終了を選択して下さい。

(4)自動スタート

- ウィンドウの起動時プログラムを自動的に実行させます。
- トレイ登録を選択するとトレイにだけプログラムをロード

するのでウィンドウの起動時間を短縮することができます。

第4章 エラーメッセージ及び対処

(1) 現在、最上位のエクスプローラを認識することができません。
エクスプローラを一度クリックしてまた押して下さい。

- エクスプローラの認識が不可能なので、現在翻訳しようとするエクスプローラのどこかをクリックし、翻訳ボタンを再度、押して下さい。

(2) エクスプローラのアクセスエラー

- エクスプローラのフレーム情報及びホームページ情報の要請によるアクセスエラーです。確認をクリックした後、再び翻訳して頂くようお願い致します。東京↔ソウル-Internetは多重プログラムで作成されたWebホームページもレイアウトの変更なく正しく翻訳します。同一のホームページで同じエラーが繰り返し発生するのは、非常に複合的なフレーム構造をもっているホームページだからです。この場合、翻訳の必要な部分だけを選択し、部分翻訳機能を活用して頂くようお願い致します。

(3) 該当するフレームのホームページを必ず翻訳しなければならない場合、次の手順にしたがって頂くようお願い致します。

- 翻訳しようとするフレームに合わせマウスを右クリックして下さい。
- バックアップメニューが開いたら、登録情報をクリックします。
- 登録情報のダイアログボックスでアドレス(URL)をコピーします。
- エクスプローラのアドレス(URL)欄に貼り付けて呼び出します。
- 翻訳ボタンをクリックします。

(4) 翻訳に必要なファイルを開くのに失敗しました。

- ファイル対象のディレクトリが存在しているかどうかを確認し、もしないならば新しく作るようにして下さい。

(5) 原文を見る機能が使用できません。

- 翻訳ファイルの生成による間違いで、単に原文を見る機能だけがご利用できなくなっただけです。対象ディレクトリ及びファイルをご確認して頂くようお願い致します。

(6) 日本語エンジン初期化の失敗

- 日本語翻訳エンジンの初期化の失敗で日韓翻訳機能を利用することができないので、プログラムを再び設置して頂くようお願い致します。プログラムを設置プログラムのディフォルト・ディレクトリで維持するものを推奨します。

(7) トップページを得ることができません。

- エクスプローラのアクセスによるエラーです。また翻訳をして見て下さい。

第5章 使用上の注意点

- 「原文表示」と「対訳表示」機能は、フレームページ別に表示され、翻訳文が存在しないページではアイコンが表示されません。「原文表示」または「対訳表示」機能を利用する場合は、該当するホームページの最下段を確認してボタンをクリックして下さい。

- 同時翻訳機能は、特定のホームページのスクリプト処理により誤作動する場合があります。この時は原文表示機能を利用して原文と翻訳文を比較するようにして下さい。

- 特殊フレームによるエクスプローラのアクセスエラー発生時には「エラーメッセージ及び対処」でエクスプローラのアクセスエラーに対する対処方法をご参照して頂くようお願い致します。

- プログラムの異常終了によってプログラムがメモリーに残ってしまうと再びプログラムを正常に実行することができません。この場合、Ctrl+Alt+Delキーを同時に一度押して東京↔ソウル-Internetを終了させた後、再び実行して頂くか、または、再起動をして頂くと正常に実行が可能になります。

- メールを韓国語に翻訳·送信する場合、「文字化け」を防ぐため、必ずユニコードを選択するようにして下さい。アウトルックを使用されるには、メールの作成前に書式メニューのエンコードでユニコードを設定して、作成して頂くようお願い致します。ただ、受信者の環境によってはユニコードで送った場合でもフ

ォントが割れて読めない場合があります。受信者の環境･条件をご確認下さいますようお願い致します。

第３部

すらすら翻訳

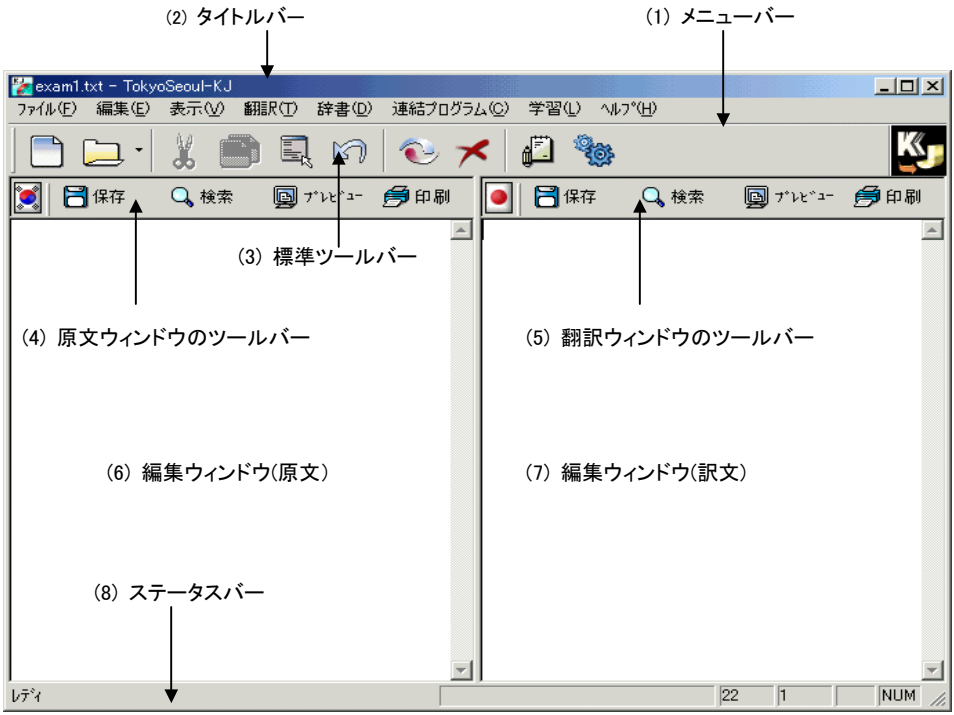
東京↔ソウル-KJ

（韓日テキスト翻訳）

第 1 章 画面構成と各部の概要

1-1 メインウィンドウ構成

「東京↔ソウル-KJ」を起動すると次のようなウィンドウが表示されます。このウィンドウを「メインウィンドウ」と言います。



(1) メニューバー

メインウィンドウで選択できる機能を表示します。

(2) タイトルバー

現在対象になっている日本語文書(原文書)のファイル名を表示します。

(3) 標準ツールバー

「東京↔ソウル-KJ」でよく使われる機能がアイコンで表示されています。翻訳、翻訳中止、ファイル開き等があります。このボックスはメニューの表示(V)の「ツール」ON/OFF により変更されます。

(4) 原文ウィンドウのツールバー

原文の編集時によく使う機能がアイコン表示されています。

(5) 翻訳ウィンドウのツールバー

翻訳文の編集時によく使う機能がアイコン表示されています。

(6) 編集ウィンドウ(原文)

翻訳する韓国語の文書を編集するウィンドウです。

(7) 編集ウィンドウ (訳文)

翻訳した日本語の文書を編集するウィンドウです。

(8) ステータスバー

現在の状態を表示します。状態の表示はメニューの表示(V)の「ステータスバー」ON/OFF により変更されます。

1-2 メインウィンドウで利用できるメニュー

メインウィンドウで利用できるメニューは次の通りです。

メニュー	機　能
ファイル(F)	翻訳する文書の読み込み、保存、出力等を行います。
編集(E)	テキストの切り取り、コピー、張り付け等を行います。
表示(V)	ツール、書式、ルーラ、ステータスバー等を表示します。
翻訳(T)	全体翻訳、一括翻訳、翻訳属性、翻訳出力（オプション）等を指定します。
辞書(D)	ユーザー辞書、単語登録・検索を行います。
オプション(S)	文書コード変換、連結プログラムを登録します。
学習(L)	韓国語の読み方をローマ字及びカタカナで表示します。
ヘルプ(H)	ヘルプを表示します。

1-3 標準ツールバー

よく使われるメニューはツールバーボタンで実行することができます。

NO	名　称	機　能
1	新規作成	新しい文書を作るときに使います。
2	開く	既に作成された文書を読み込んで編集します。
3	切り取り	選択した部分または文章を切り取ってクリップボードに入れます。
4	コピー	同じ内容をコピーしてクリップボードに入れます。
5	貼り付け	切り取り、コピーによってクリップボードに入れた内容を貼り付けます。
6	元に戻す	直前に実行した命令を取り消し、ひとつ前の状態に戻します。
7	翻訳	指定した範囲または全体内容を翻訳します。
8	翻訳中止	翻訳を中止します。
9	文書コード変換	JIS/EUC/KS コードを ShiftJIS に変換します。
10	連結プログラム登録	外部エディタープログラムに登録します。
11	連結プログラム転送	翻訳結果を外部プログラムに転送します。

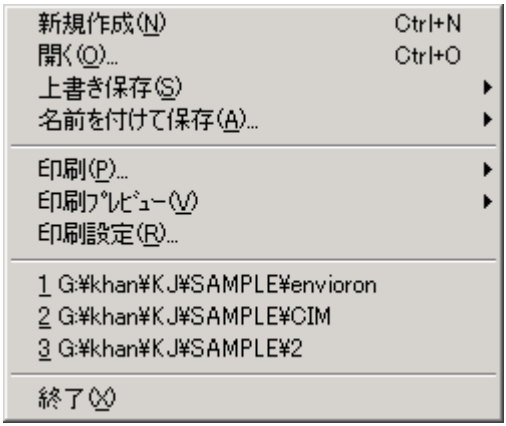
1-4 原文ｳｨﾝﾄﾞｳ/訳文ｳｨﾝﾄﾞｳのツールバー

ツールバーボタンで次の編集ができます。

NO	名　　称	機　　能
1	保存	作成中·作成済みの文書を保存します。
2	検索	文章内の単語を検索します。
3	印刷プレビュー	印刷する前に出力する内容を画面に表示します。
4	印刷	文書の印刷を行います。

第 2 章 メニューコマンド

2-1 ファイル(F)

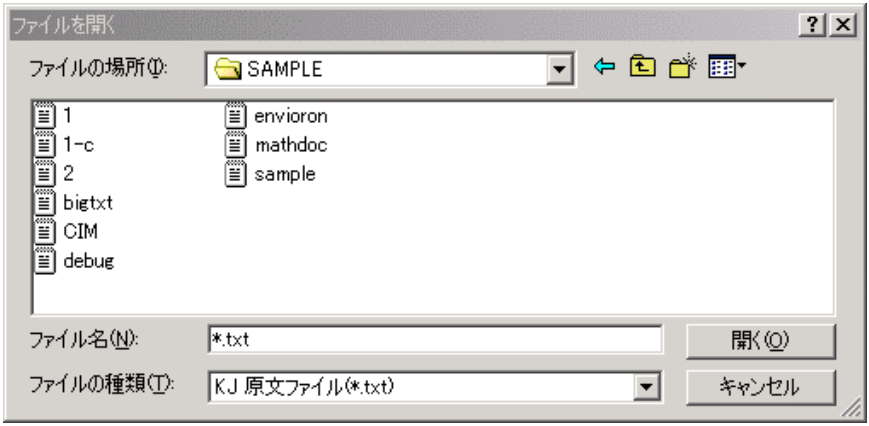


(1)新規作成(N)

文書を新しく作る時に使用します。選択すると現在開いているファイルは取り消されます。(Ctrl+N)

(2)開く(O)

既に作成されたファイルを開き、編集状態にします。読み込み可能なファイル形式はテキスト(TXT)形式です。(Ctrl+O)



(3)上書き保存(S)

現在のウィンドウ内容を上書きし、保存します。 保存はテキスト形式のみです。(Ctrl+S)

(4)名前を付けて保存

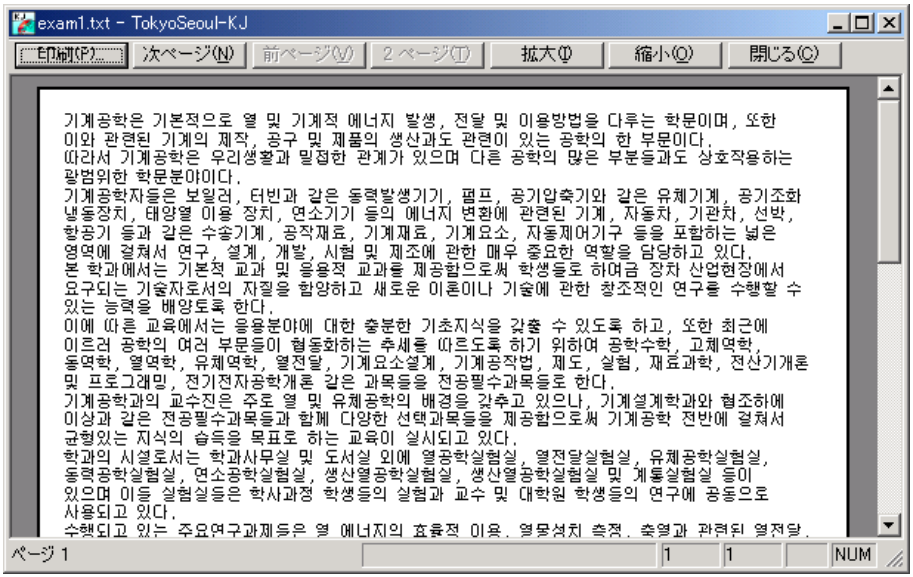
現在開いているファイルを他の名前で保存する時に用います。保存方式はテキスト形式のみです。(Ctrl+A)

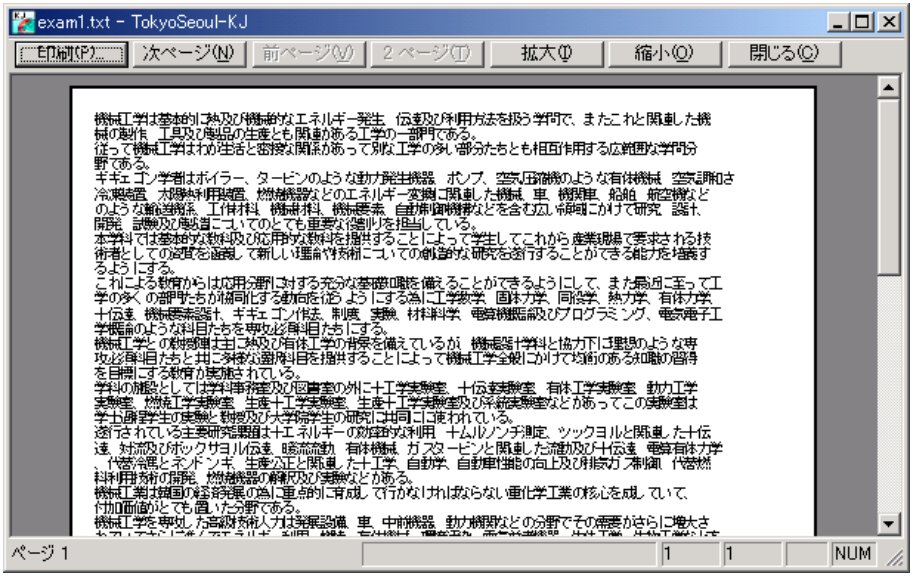
(5)印刷(P)

現在の文書を印刷します。(Ctrl+P)

(6)印刷プレビュー

印刷する前に文書のプレビューを見ることができます。


exam1.txt - TokyoSeoul-KJ
印刷(P)
次ページ(N)
前ページ(V)
2 ページ(T)
拡大(I)
縮小(O)
閉じる(C)
기계공학은 기본적으로 열 및 기계적 에너지 발생, 전달 및 이용방법을 다루는 학문이며, 또한
이와 관련된 기계의 제작, 공구 및 제품의 생산과도 관련이 있는 공학의 한 부문이다.
따라서 기계공학은 우리생활과 밀접한 관계가 있으며 다른 공학의 많은 부분들과도 상호작용하는
광범위한 학문분야이다.
기계공학자들은 보일러, 터빈과 같은 동력발생기기, 펌프, 공기압축기와 같은 유체기계, 공기조화
냉동장치, 태양열 이용 장치, 연소기기 등의 에너지 변환에 관련된 기계, 자동차, 기관차, 선박,
항공기 등과 같은 수송기계, 공작재료, 기계재료, 기계요소, 자동제어기구 등을 포함하는 넓은
영역에 걸쳐서 연구, 설계, 개발, 시험 및 제조에 관한 매우 중요한 역할을 담당하고 있다.
본 학과에서는 기본적 교과 및 응용적 교과를 제공함으로써 학생들로 하여금 장차 산업현장에서
요구되는 기술자로서의 자질을 함양하고 새로운 이론이나 기술에 관한 창조적인 연구를 수행할 수
있는 능력을 배양토록 한다.
이에 따른 교육에서는 응용분야에 대한 충분한 기초지식을 갖출 수 있도록 하고, 또한 최근에
이르러 공학의 여러 부문들이 협동화하는 추세를 따르도록 하기 위하여 공학수학, 고체역학,
동역학, 열역학, 유체역학, 열전달, 기계요소설계, 기계공작법, 제도, 실험, 재료과학, 전산기개론
및 프로그래밍, 전기전자공학개론 같은 과목들을 전공필수과목들로 한다.
기계공학과의 교수진은 주로 열 및 유체공학의 배경을 갖추고 있으나, 기계설계학과와 협조하에
이상과 같은 전공필수과목들과 함께 다양한 선택과목들을 제공함으로써 기계공학 전반에 걸쳐서
균형있는 지식의 습득을 목표로 하는 교육이 실시되고 있다.
학과의 시설로서는 학과사무실 및 도서실 외에 열공학실험실, 열전달실험실, 유체공학실험실,
동력공학실험실, 연소공학실험실, 생산열공학실험실, 생산열공학실험실 및 계통실험실 등이
있으며 이들 실험실들은 학사과정 학생들의 실험과 교수 및 대학원 학생들의 연구에 공동으로
사용되고 있다.
수행되고 있는 주요연구과제들은 열 에너지의 효율적 이용, 열물성치 측정, 축열과 관련된 열전달,
ページ 1
1
1
NUM


exam1.txt - TokyoSeoul-KJ
印刷(P)
次ページ(N)
前ページ(V)
2 ページ(T)
拡大(I)
縮小(O)
閉じる(C)
機械工学は基本的に熱及び機械的なエネルギー発生、伝達及び利用方法を扱う学問で、またこれと関連した機
械の製作、工具及び製品の生産とも関連がある工学の一部門である。
従って機械工学はわが生活と密接な関係があって別な工学の多い部分ともと相互作用する広範囲な学問分
野である。
ギヤエ ゴン学者はボイラー、タービンのような動力発生機器、ポンプ、空気圧縮機のような有体機械、空気調和さ
冷凍装置、太陽熱利用装置、燃焼器などのエネルギー変換に関連した機械、車、機関車、船舶、航空機など
のような輸送機系、工作材料、機械材料、機械要素、自動制御機構などを含む広い領域にかけて研究、設計、
開発、試験及び感覚についてのとても重要な役割りを担当している。
本学科では基礎的な数学及び応用的な数学を提供することによって学生してこれから産業現場で要求される技
術者としての姿勢を涵養して新しい素材技術についての創造的な研究を遂行することができる能力を増進す
るようにする。
これによる教育からは応用分野に対する充分な基礎知識を備えることができるようにして、また最近に至って工
学の多くの部門たちが複合化する動向を従うようにする為に工学数学、固体力学、同位学、熱力学、有体力学、
十伝達、機械要素設計、ギヤエ ゴン作法、制度、実験、材料科学、電算機解析及びプログラミング、電気電子工
学概論のような科目たちを専攻必修科目たちにする。
機械工学との数学専攻者は応用数学的な有体工学の背景を備えているが、機械設計学科と協力下に実際のような専
攻必修科目たちと共に多様な選択科目を提供することによって機械工学全般にかけて均衡のある知識の習得
を目標にする教育が実施されている。
学科の施設としては学科事務室及び図書室の外に十工学実験室、十伝達実験室、有体工学実験室、動力工学
実験室、燃焼工学実験室、生産十工学実験室、生産十工学実験室及び科統実験室などがあってこの実験室は
学士課程学生の実験と数授及び大学院学生の研究に共同に使われている。
遂行されている主要研究課題は十エネルギーの効率的な利用、ナムルソンチ測定、ツックヨルと関連した十伝
達、対流及びボックサヨル伝達、瞬流流動、有体機械、ガスタービンと関連した流動及び十伝達、電算有体力学
、代替燃料とネンドンキ、生産公正と関連した十工学、自動車、自動車性能の向上及び排気ガス制御、代替燃
料利用技術の開発、燃焼機器の解釈及び実験などがある。
機械工業は韓国の経済発展の為に重点的に育成して行かなければならない重化学工業の核心を成していて、
付加価値がとても高いた野である。
機械工学を専攻した高級技術人力は発展設備、車、中機機器、動力機関などの分野でその需要が益々に増大さ
ページ 1
1
1
NUM

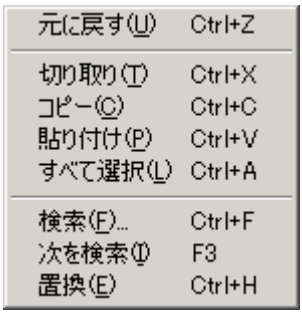
(7) 印刷設定

用紙のサイズ、方向、余白等を指定します。

(8) 終了(X)

「東京↔ソウル-KJ」を終了します。変更になった文書が保存されていないときには「保存しますか?」のダイアログボックスが表示されます。

2-2 編集(E)



(1) 元に戻す(U)

直前の命令を取り消し、ひとつ前の状態に戻します。(Ctrl+Z)

(2) 切り取り(T)

選択した部分または文章を切り取ってクリップボードに入れます。(Ctrl+X)

(3) コピー(C)

同じ内容をコピーしてクリップボードに入れます。(Ctrl+C)

(4) 貼り付け(P)

切り取り、コピーによってクリップボードに入れた内容を貼り付けます。(Ctrl+V)

(5) 削除(A)

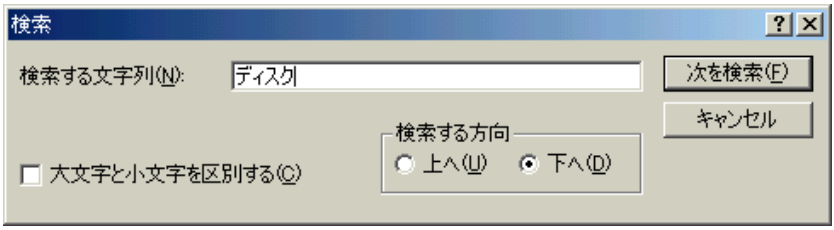
選択した範囲または文章を削除します。

(6) すべて選択(L)

現在のウィンドウ全体をドラッグして選択します。(Ctrl+A)

(7) 検索(F)

現在のウィンドウにある文字を検索します。(Ctrl+F)

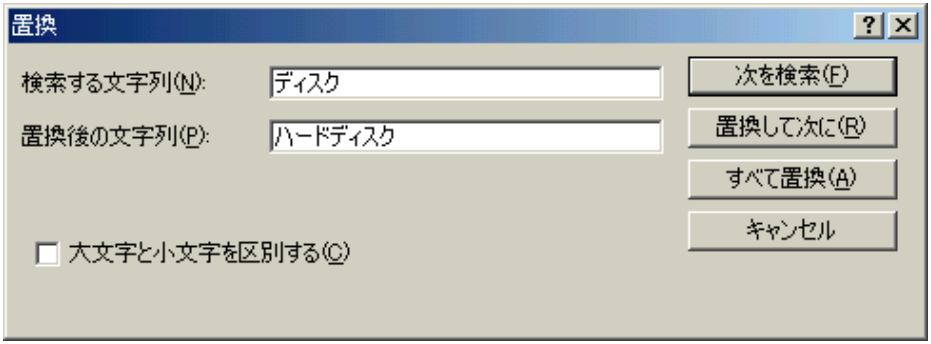


(8)次を検索(N)

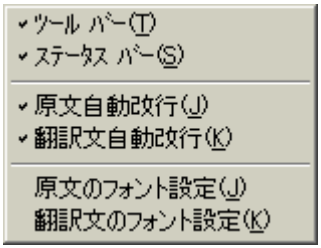
現在のウィンドウにある文字を次々と検索します。(F3)

(9)置換(E)

現在のウィンドウにある文字を他の文字に置き換えます。(Ctrl+H)



2-3 表示(V)



(1) ツールバー(T)

ツールバーのアイコンを ON/OFF します。

(2) ステータスバー(S)

ウィンドウの下段のステータスバーを ON/OFF します。

(3) 原文の自動改行(J)

原文ファイルのウィンドウのサイズに合わせて改行します。

(4) 翻訳文の自動改行(K)

翻訳文ファイルのウィンドウのサイズに合わせて改行します。

(5) 原文のフォント設定

原文ファイルのフォントの種類を設定します。

(6) 翻訳文のフォント設定

翻訳文ファイルのフォントの種類を設定します。

2-4 翻訳(T)

(1) 全文翻訳

全体の文書を日本語に翻訳します。範囲指定された文書はその部分の文書のみ翻訳されます。

(2) 翻訳中止

進行中の翻訳を中止して、現在まで翻訳された結果だけを画面に出力します。

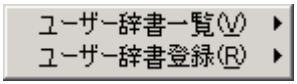
(3) 一括翻訳

ファイル単位で翻訳を進めます。

(4) 翻訳設定

翻訳形態、辞書名を指定します。

2-5 辞書(D)



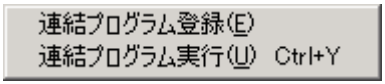
(1) ユーザー辞書一覧

- 名詞辞書一覧 : ユーザー名詞辞書を一覧します。
- 副詞辞書一覧 : ユーザー副詞辞書を一覧します。

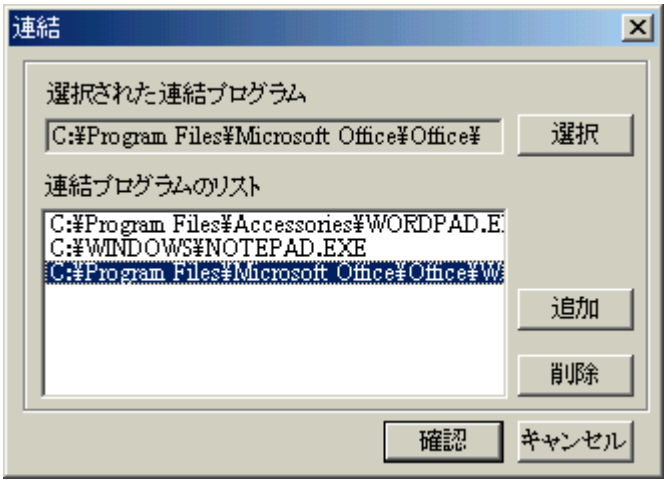
(2) ユーザー辞書登録

- 名詞辞書に登録 : ユーザー名詞辞書を登録します。
- 副詞辞書に登録 : ユーザー副詞辞書を登録します。

2-6 連結メニュー



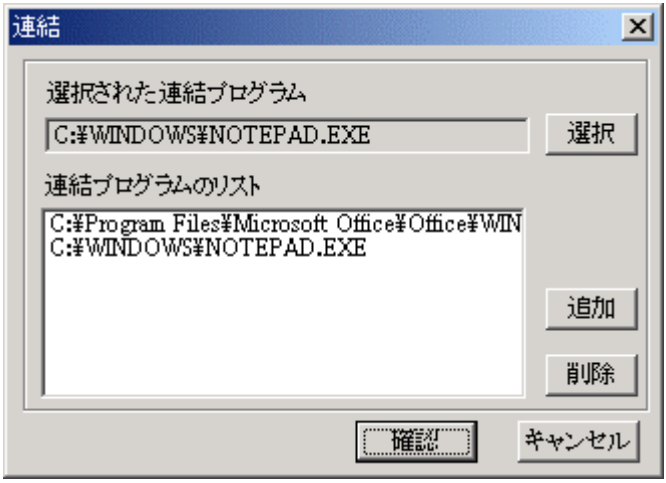
(1)連結プログラム登録



訳文ウィンドウに出力された内容を他のワード等の外部プログラムで編集したい場合には、 連結プログラム登録を実行すると連結ダイアログボックスが出ます。「追加」ボタンを押すと「ファイルを開く」ダイアログボックスが出てきます。

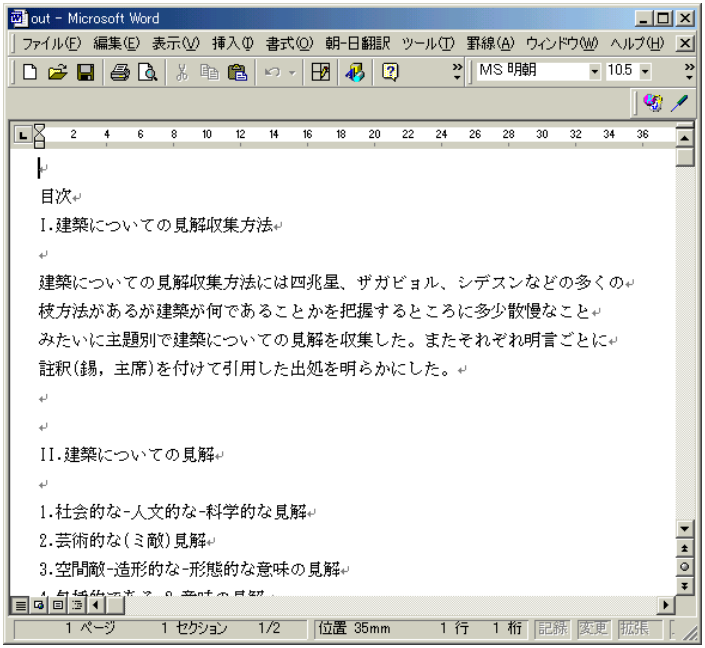
「ファイルを開く」ダイアログボックスで外部プログラムの実行ファイルを選択し、「開く」ボタンを押すとプログラムのリストに追加されます。上のように反復し、必要なプログラムをいくつか追加します。プログラムのリストから使用したいプログラムを選択した後「選択」ボタンを押すと

登録が完了されます。 例えば MS Word プログラムを登録したい場合には、「選択」ボタンを利用して実行ファイルを探し、次のように登録します。



(2) 連結プログラムの実行

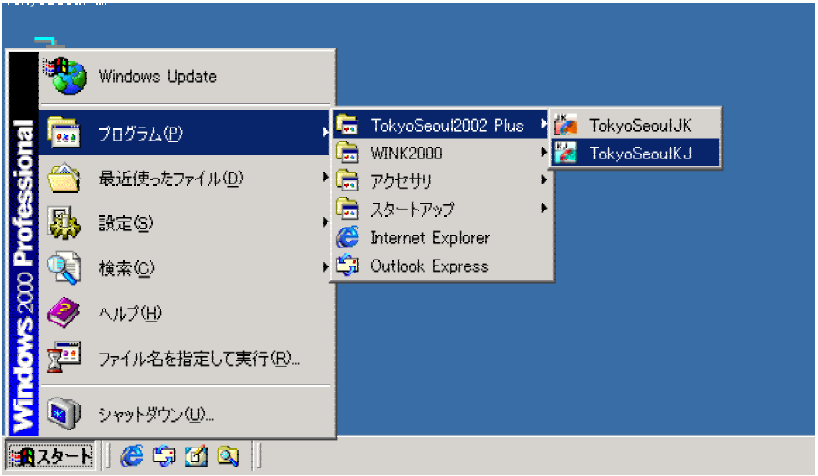
翻訳結果を選択した外部プログラムに転送します。

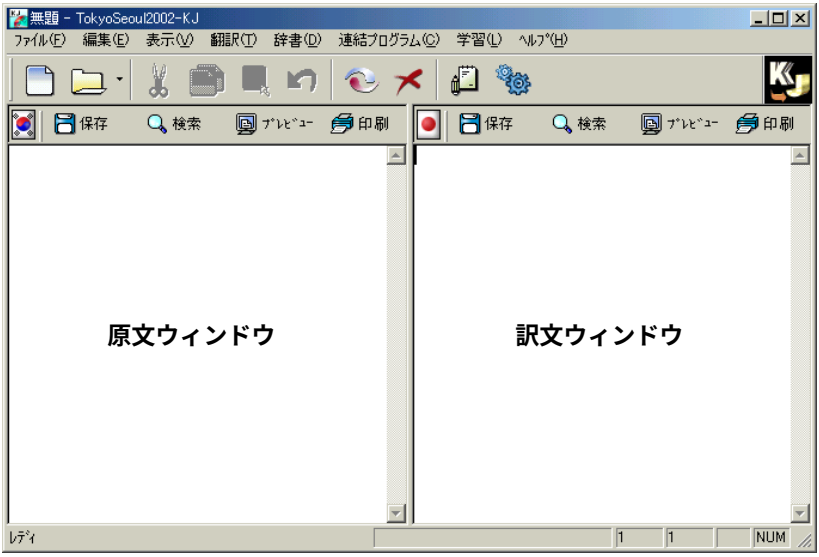


第 3 章 操作方法

3-1 翻訳実行

(1) スタートメニューから「東京↔ソウル-KJ」を実行します。





(2) 翻訳したい韓国語文書を原文ウィンドウに入力します。

■ **ファイルから呼び出します。**

1. メニューバーからファイル(F)ー開く(O)を実行します。
2. ファイルを開くダイアログから読み込むファイルを選択します。
3. ファイルを開くダイアログの「OK」ボタンをクリックすると選択したファイルが読み込まれます。

■ **キーボードで直接タイプします。**

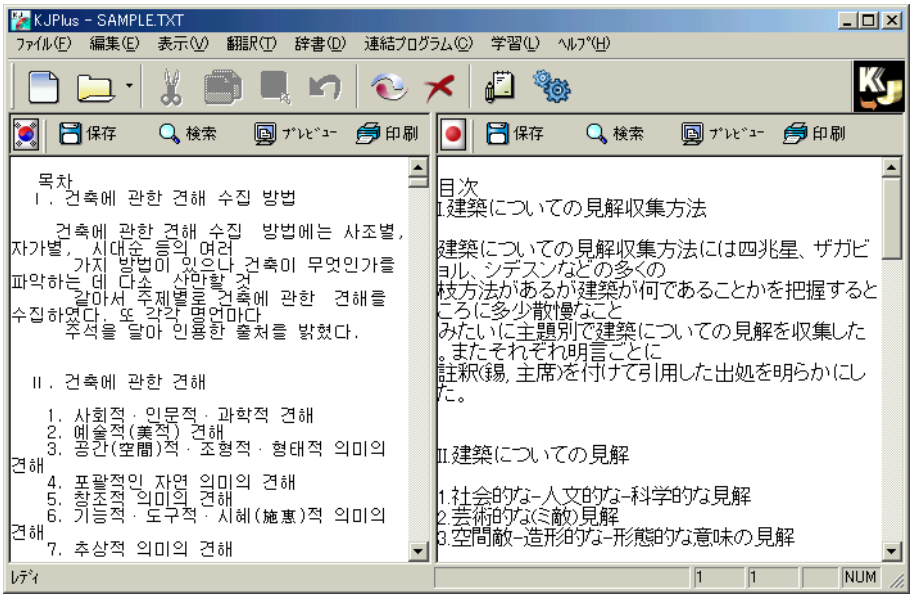
(すらすらハングル入力 KS コード利用)

原文ウィンドウにあるカーソルの位置にキーボードから翻訳する韓国語の文を入力します.

(3) 翻訳を実行します。

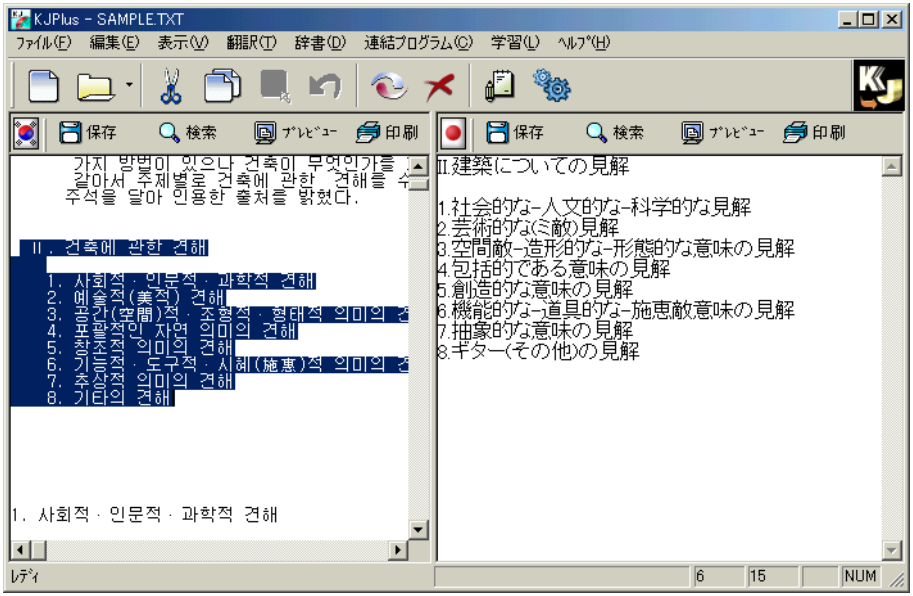
■ **全文を翻訳する場合**

メインメニュー「翻訳(T)」の「全文翻訳」か、またはツールバーの翻訳アイコンを選択してください。翻訳を中止する場合にはツールバーの翻訳中止アイコンをクリックすると翻訳が中止されます。



■ **文章の一部を翻訳する場合（部分翻訳）**

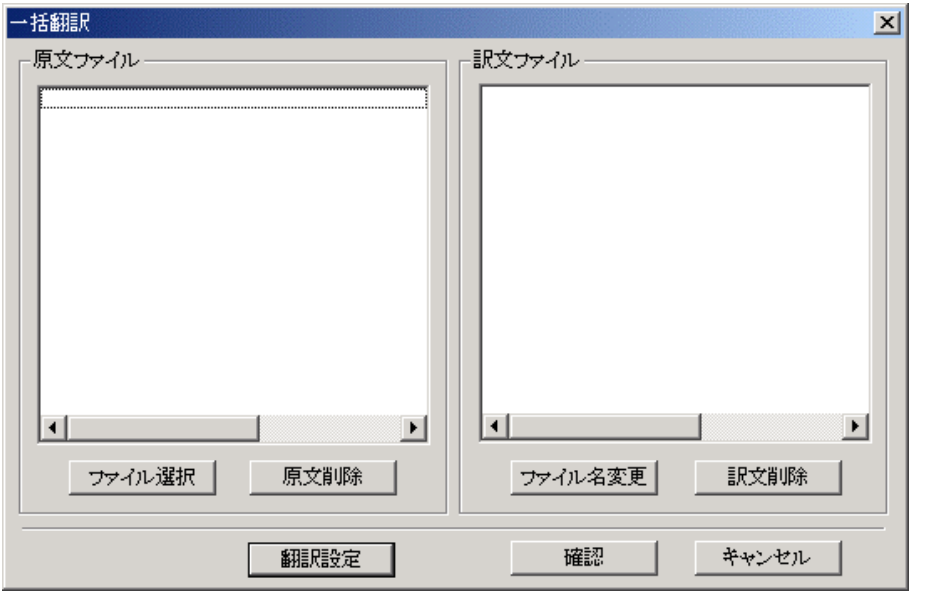
該当する領域をマウスでドラッグ選択して翻訳アイコンを押すと、選択された領域だけが翻訳されます。



3-2 一括翻訳

いくつかのファイルを一括翻訳する機能です。

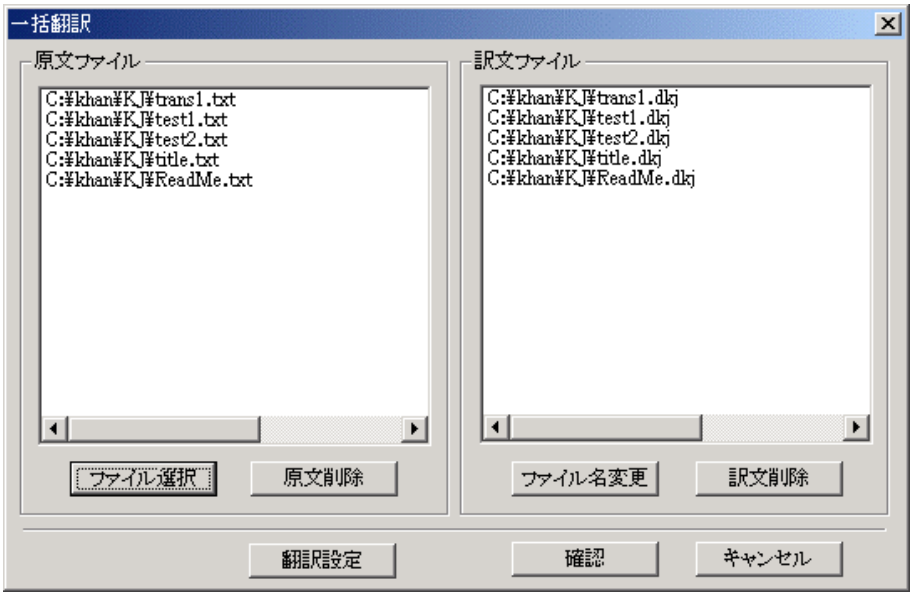
(1) メニューバーから「翻訳」ー「一括翻訳」を実行します。



(2)　一括翻訳ダイアログから「ファイル選択」ボタンをクリックし て、翻訳したい
ファイルを選択します。

(3) 選択したファイルが一括翻訳ウィンドウに登録されます。

「確認」をクリックすると翻訳が開始されます。 選択された文書の結果を保存する時、ファイル名は「原文ファイル名.dkj」の形で翻訳文ファイルリストに追加されます。

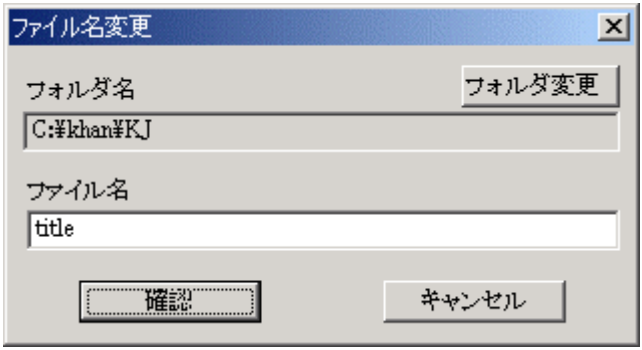


(4) 原文削除

原文ファイルのリストから選択された文書を削除します。この際、対応する翻訳文ファイルも自動的に削除されます。

(5) ファイル名の変更

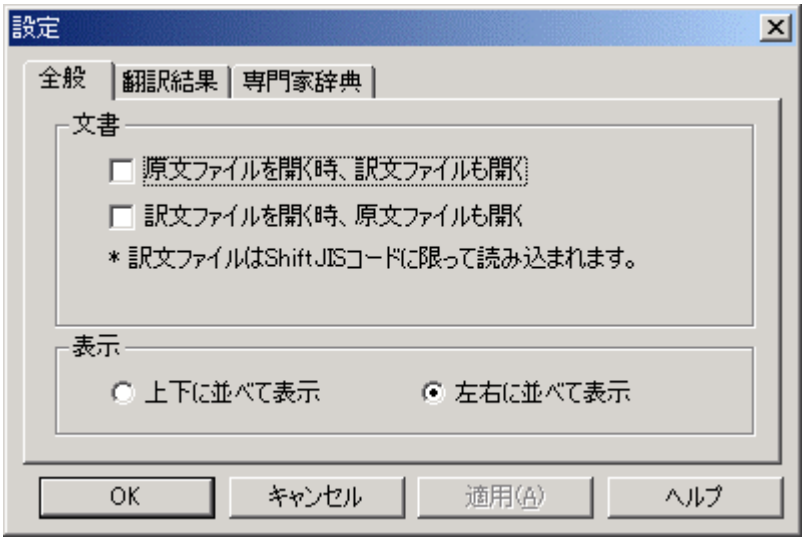
基本的に割り当てられた訳文ファイル名(原文ファイル名.dkj)を変更します。「翻訳文ファイル」リストから翻訳したい項目を選択すると次のようなウィンドウが表示されます。ファイル名入力欄に新しいファイル名を入力して確認ボタンを押します。



(6) 訳文削除

翻訳文ファイルのリストから特定項目を削除します。この際、対応する原文ファイルも削除されます。

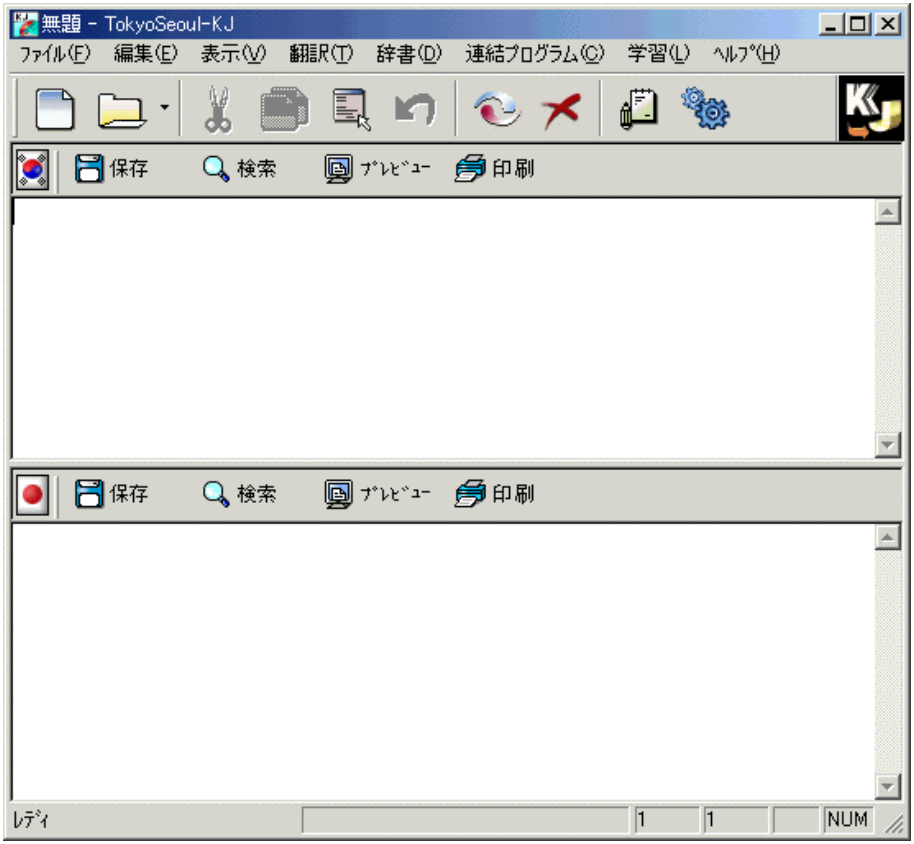
3-3 翻訳設定



原文ファイルを開く時、訳文ファイルを一緒に開くためには、基本的に訳文ファイルと原文ファイルのファイル名を同一に設定し、訳文ファイルの拡張子はdkj、原文フィルの拡張子はtxtとします。たとえば、原文ファイル名が（test.txt）の場合、訳文ファイル名はtest.dkjでなければなりません。

訳文ファイルを開く時、原文ファイルを一緒に開く場合も同様です。もし、拡張子が違う場合は指定できるウィンドウが表示されます。

3-4 ウィンドウの分割

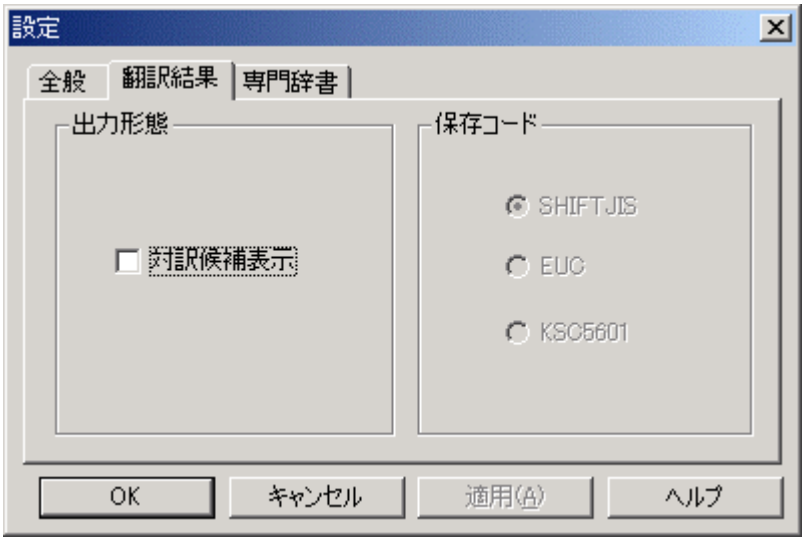


基本的に文書ウィンドウのハングル編集ウィンドウと日本語編集ウィンドウは左、右に分けられますが、文章が長い場合は画面を上下に分割し、上の部分はハングル、下の部分は日本語のウィンドウを表示します。

☞ この設定は既に開かれたウィンドウに対しては適用されません。

設定後、新しいウィンドウに対して適用されます。

3-5 翻訳結果



(1)対訳候補表示

「対訳候補表示」項目を選択すると、いくつかの意味を持つハングルについて、日本語の単語候補群を同時に表示します。

(2)保存コード

翻訳の結果を保存する時、どんなコードで保存するかを選択します。

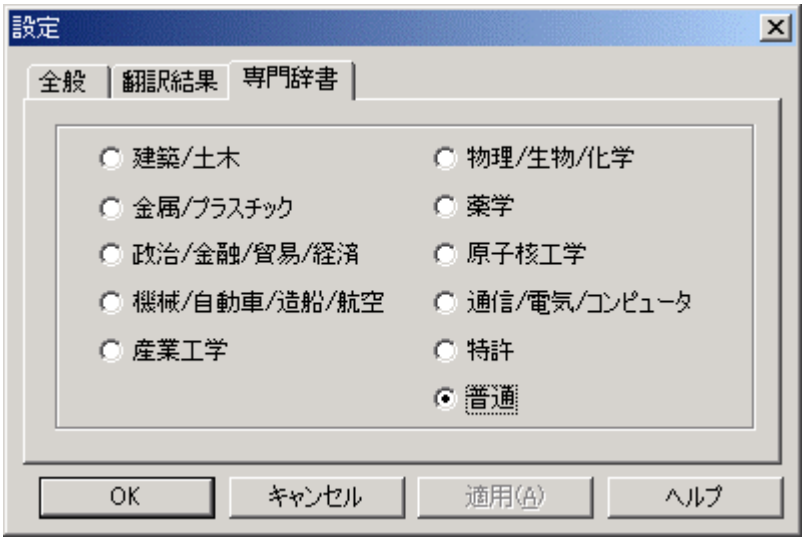
※ 全文翻訳では「保存コード」を選択することはできず(「名前を付けて保

存」の場合は選択可能）、一括翻訳時だけ選択可能です。

3-6 韓国語の発音表記

この機能は東京⇔ソウルLightからは削除されています。

3-7 専門辞書



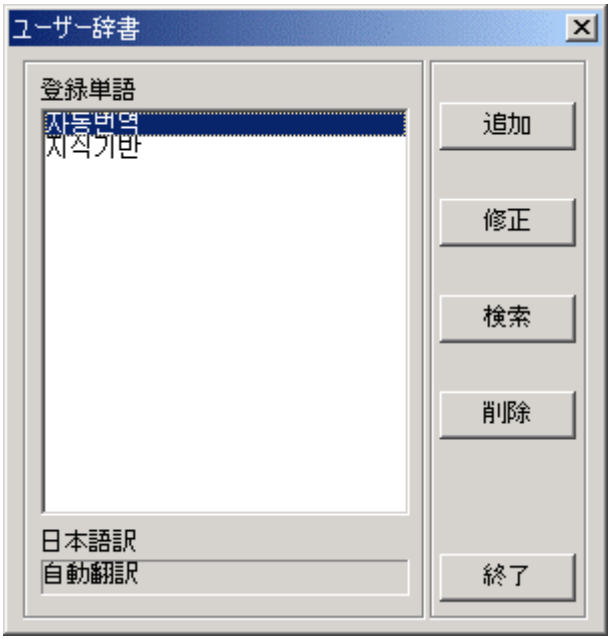
このプログラムは特定の分野に関わる文書などの翻訳が必要なユーザーのために10分野の専門辞書を提供します。該当分野の辞書を選択するためには「翻訳」メニューの「翻訳設定」項目を選択し、属性ボックスを表示します。属性ボックスの3番目の専門辞書を選択して下さい。但し、専門辞書は一回に一種類しか選

択することができません。

第 4 章 ユーザー辞書

4-1 ユーザー辞書の登録

メニューバーで「辞書(D)」-「ユーザー辞書登録(R)」-「名詞辞書に登録(N)」をクリックするとユーザー登録のダイアログボックスが表示されます。



(1)ユーザー辞書登録

上記のダイアログボックスで「追加」を選択します。

新しく追加したい単語を「韓国語」欄に入力し、これに対応する日本語単語を「日本語」欄に入力して確認ボタンを押します。

追加する単語が副詞の場合には、「辞書(D)」-「ユーザー辞書登録(R)」-「副詞辞書に登録(A)」をクリックして追加します。

☞ 単語を追加する時は - ハングル単語の間にはスペースなしで入力してください。

4-2 修正

すでにユーザー辞書に登録された単語を修正します。「ユーザー辞書」のダイアログボックスで修正をクリックします。「登録単語」リストから修正したい項目を選択し、「修正」ボタンを押すと上の絵のように該当項目の内容が表示されます。改めて入力した後、確認ボタンを押すと修正されます。

4-3 検索

「ユーザー辞書」のダイアログボックスで「検索」をクリックします。ユーザー辞書に登録された単語が多い場合、特定単語を検索します。

第４部

すらすら翻訳

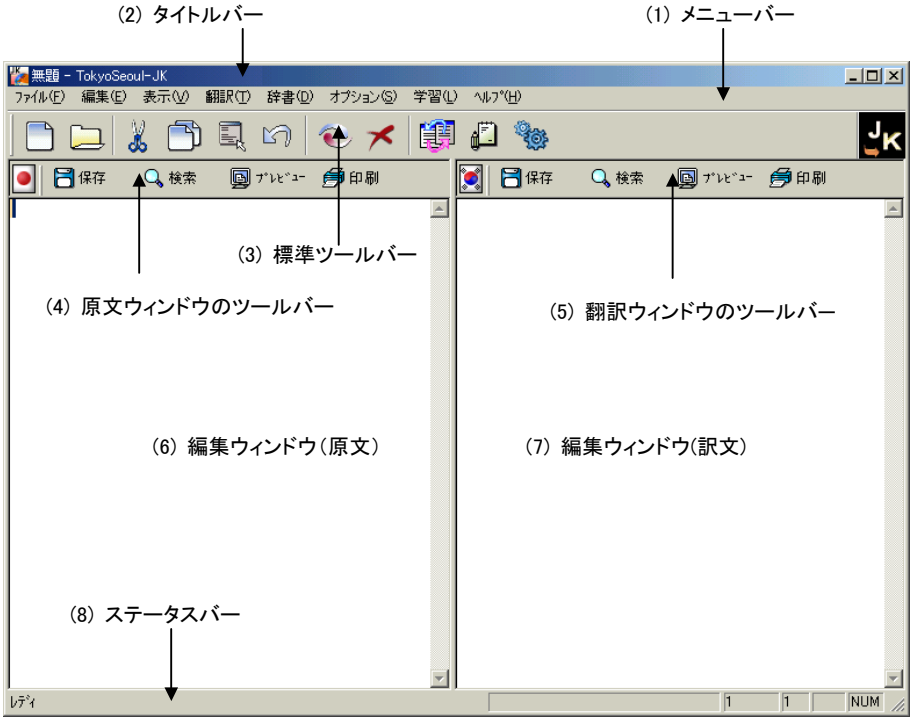
東京↔ソウル−JK

（日韓テキスト翻訳）

第1章 画面構成と各部の概要

1−1 メインウィンドウ構成

「東京↔ソウル−JK」を起動すると次のようなウィンドウが表示されます。このウィンドウを「メインウィンドウ」と言います。



(1) メニューバー

メインウィンドウで選択できる機能を表示します。

(2) タイトルバー

現在対象になっている日本語文書(原文書)のファイル名を表示します。

(3) 標準ツールバー

「東京↔ソウル-JK」でよく使われる機能がアイコンで表示されています。翻訳、翻訳中止、ファイル開き等があります。このボックスはメニューの表示(V)の「ツール」「ON/OFF」により変更されます。

(4) 原文ウィンドウのツールバー

原文の編集時によく使う機能がアイコン表示されています。

(5) 翻訳ウィンドウのツールバー

翻訳文の編集時によく使う機能がアイコン表示されています。

(6) 編集ウィンドウ(原文書)

翻訳する日本語文書を編集するウィンドウです。

(7) 編集ウィンドウ(翻訳文書)

翻訳した韓国語の文書を編集するウィンドウです。

(8) ステータスバー

現在の状態を表示します。状態の表示はメニューの表示(V)の「ステータスバー」「ON/OFF」により変更されます。

1-2 メインウィンドウで利用できるメニュー

メインウィンドウで利用できるメニューは次の通りです。

メニュー	機　能
ファイル(F)	翻訳する文書の読み込み、保存、出力等を行います。
編集(E)	テキストの切り取り、コピー、張り付け等を行います。
表示(V)	ツール、書式、ルーラ、ステータスバー等を表示します。
翻訳(T)	全体翻訳、一括翻訳、翻訳属性、翻訳出力（オプション）等を指定します。
辞書(D)	ユーザー辞書、単語登録・検索を行います。
オプション(S)	文書コード変換、連結プログラムを登録します。
学習(L)	韓国語の読み方を英語及びカタカナで表示します。
ヘルプ(H)	ヘルプを表示します。

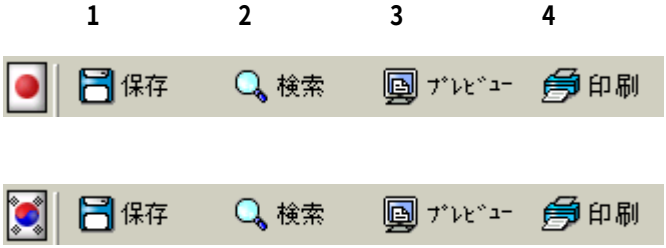
1-3 標準ツールバー

良く使われるメニューはツールバーボタンで実行することができます。

NO	名　称	機　能
1	新規作成	新しい文書を作るときに使います。
2	開く	既に作成された文書を読み込んで編集します。
3	切り取り	選択した部分または文章を切り取ってクリップボードに入れます。
4	コピー	同じ内容をコピーしてクリップボードに入れます。
5	貼り付け	切り取り、コピーによってクリップボードに入れた内容を貼り付けます。
6	元に戻す	直前に実行した命令を取り消し、ひとつ前の状態に戻します。
7	翻訳	指定した範囲または全体内容を翻訳します。
8	翻訳中止	翻訳を中止します。
9	文書コード変換	JIS/EUC/KS コードを ShiftJIS に変換します。
10	連結プログラム登録	外部エディタープログラムに登録します。
11	連結プログラム転送	翻訳結果を外部プログラムに転送します。

1-4 原文ウィンドウ/訳文ウィンドウのツールバー

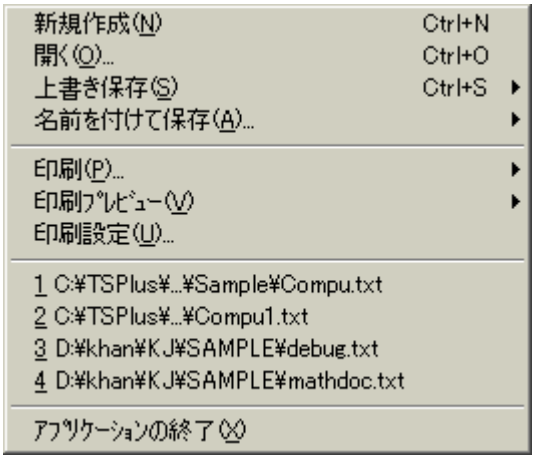
ツールバーボタンで次の編集ができます。



NO	名　称	機　能
1	保存	作成している文書を保存します。
2	検索	文章内の単語を検索します。
3	印刷プレビュー	印刷する前に出力する内容を 画面に表示します。
4	印刷	文書の印刷を行います。

第2章　メニューコマンド

2-1 ファイル(F)

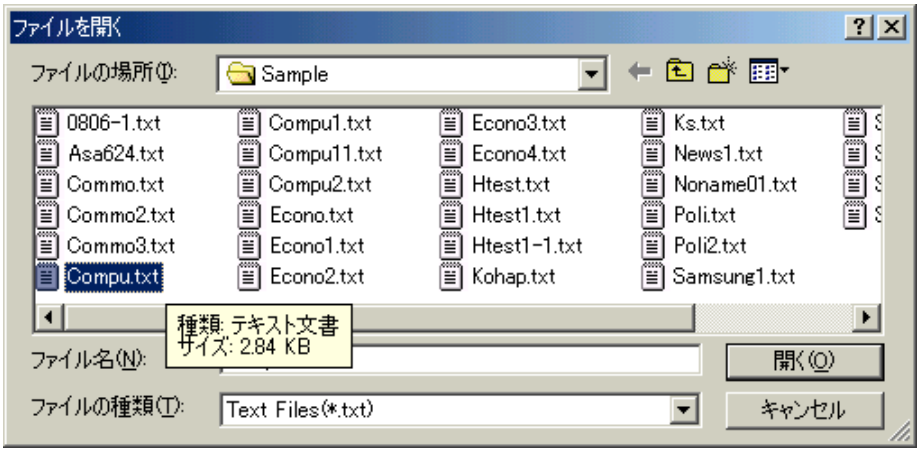


(1) 新規作成(N)

文書を新しく作る時に使用します。選択すると現在開いているファイルは取り消されます。(Ctrl+N)

(2) 開く(O)

既に作成されたファイルを開き、編集状態にします。読み込み可能なファイル形式はテキスト(TXT)形式です。(Ctrl+O)



(3) 上書き保存(S)

現在のウィンドウ内容を保存します。保存はテキスト形式のみです。

(Ctrl+S)

(4) 名前を付けて保存

現在開いているファイルを他の名前で保存するとき用います。

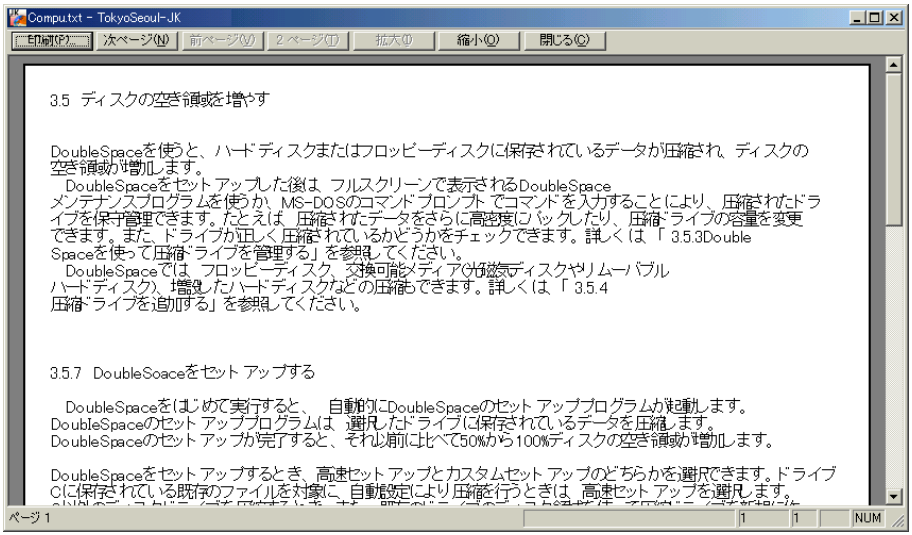
保存方式はテキスト形式のみです。(Ctrl+A)

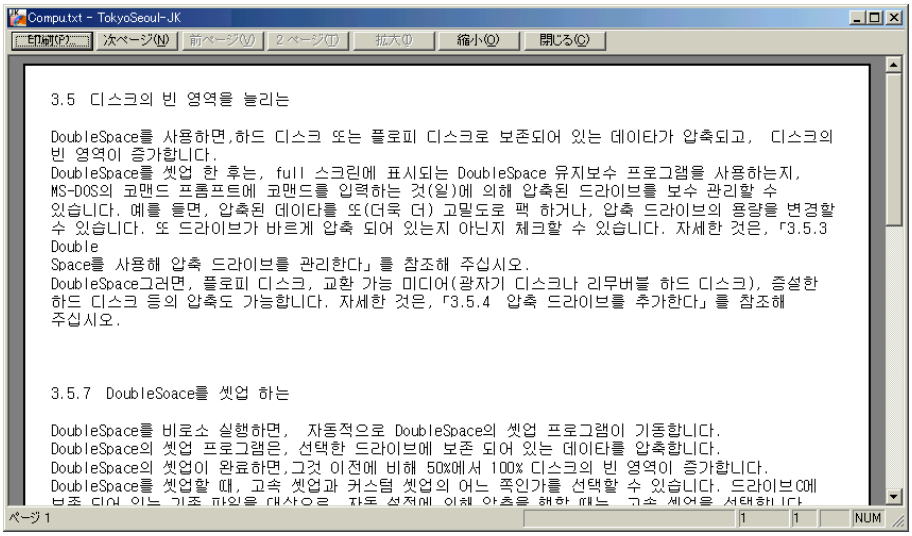
(5) 印刷(P)

現在の文書を印刷します。(Ctrl+P)

(6) 印刷プレビュー

印刷する前に文書のプレビューを見ることができます。


Comput.txt - TokyoSeoul-JK
印刷(P)...
次ページ(N)
前ページ(V)
2 ページ(T)
拡大(I)
縮小(O)
閉じる(C)
3.5 ディスクの空き領域を増やす
DoubleSpaceを使うと、ハードディスクまたはフロッピーディスクに保存されているデータが圧縮され、ディスクの空き領域が増加します。
DoubleSpaceをセットアップした後は、フルスクリーンで表示されるDoubleSpace メンテナンスプログラムを使うか、MS-DOSのコマンドプロンプトでコマンドを入力することにより、圧縮されたドライブを保守管理できます。たとえば、圧縮されたデータをさらに高密度にパックしたり、圧縮ドライブの容量を変更できます。また、ドライブが正しく圧縮されているかどうかをチェックできます。詳しくは「3.5.3Double Spaceを使って圧縮ドライブを管理する」を参照してください。
DoubleSpaceでは、フロッピーディスク、交換可能メディア(光磁気ディスクやリムーバブル ハードディスク)、増設したハードディスクなどの圧縮もできます。詳しくは、「3.5.4 圧縮ドライブを追加する」を参照してください。
3.5.7 DoubleSoaceをセットアップする
DoubleSpaceをはじめて実行すると、自動的にDoubleSpaceのセットアッププログラムが起動します。
DoubleSpaceのセットアッププログラムは、選択したドライブに保存されているデータを圧縮します。
DoubleSpaceのセットアップが完了すると、それ以前に比べて50%から100%ディスクの空き領域が増加します。
DoubleSpaceをセットアップするとき、高速セットアップとカスタムセットアップのどちらかを選択できます。ドライブCに保存されている既存のファイルを対象に、自動設定により圧縮を行うときは、高速セットアップを選択します。
ページ 1
NUM


Comput.txt - TokyoSeoul-JK
印刷(P)...
次ページ(N)
前ページ(V)
2 ページ(T)
拡大(I)
縮小(O)
閉じる(C)
3.5 ディスクの 빈 영역을 늘리는
DoubleSpace를 사용하면,하드 디스크 또는 플로피 디스크로 보존되어 있는 데이타가 압축되고, 디스크의 빈 영역이 증가합니다.
DoubleSpace를 셋업 한 후는, full 스크린에 표시되는 DoubleSpace 유지보수 프로그램을 사용하는지, MS-DOS의 코맨드 프롬프트에 코맨드를 입력하는 것(일)에 의해 압축된 드라이브를 보수 관리할 수 있습니다. 예를 들면, 압축된 데이타를 또(더욱 더) 고밀도로 팩 하거나, 압축 드라이브의 용량을 변경할 수 있습니다. 또 드라이브가 바르게 압축 되어 있는지 아닌지 체크할 수 있습니다. 자세한 것은, 「3.5.3 Double Space를 사용해 압축 드라이브를 관리한다」를 참조해 주십시오.
DoubleSpace그러면, 플로피 디스크, 교환 가능 미디어(광자기 디스크나 리무버블 하드 디스크), 증설한 하드 디스크 등의 압축도 가능합니다. 자세한 것은, 「3.5.4 압축 드라이브를 추가한다」를 참조해 주십시오.
3.5.7 DoubleSoace를 셋업 하는
DoubleSpace를 비로소 실행하면, 자동적으로 DoubleSpace의 셋업 프로그램이 기동합니다.
DoubleSpace의 셋업 프로그램은, 선택한 드라이브에 보존 되어 있는 데이타를 압축합니다.
DoubleSpace의 셋업이 완료하면,그것 이전에 비해 50%에서 100% 디스크의 빈 영역이 증가합니다.
DoubleSpace를 셋업할 때, 고속 셋업과 커스텀 셋업의 어느 쪽인가를 선택할 수 있습니다. 드라이브C에
ページ 1
NUM

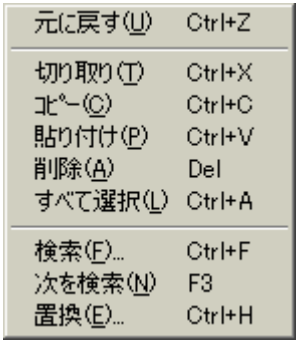
(7) 印刷設定

用紙のサイズ、方向、余白等を指定します。

(8) 終了(X)

「東京↔ソウル-JK」を終了します。変更になった文書が保存されていないときには「保存しますか?」のダイアログボックスが表示されます。

2-2 編集(E)



(1) 元に戻す(U)

直前の命令を取り消し、ひとつ前の状態に戻します。(Ctrl+Z)

(2) 切り取り(T)

選択した部分または文章を切り取ってクリップボードに入れます。(Ctrl+X)

(3) コピー(C)

同じ内容をコピーしてクリップボードに入れます。(Ctrl+C)

(4) 貼り付け(P)

切り取り、コピーによってクリップボードに入れた内容を貼り付けます。(Ctrl+V)

(5) 削除(A)

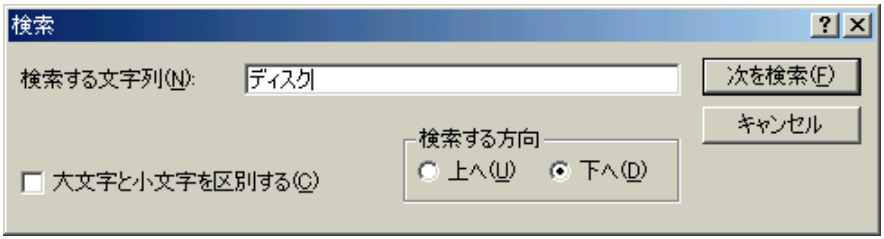
選択した範囲または文章を削除します。

(6) すべて選択(L)

現在のウィンドウ全体をドラッグして選択します。(Ctrl+A)

(7) 検索(F)

現在のウィンドウにある文字を検索します。(Ctrl+F)

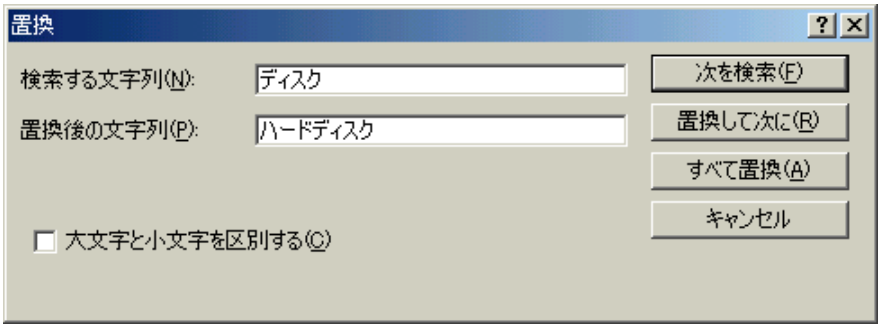


(8) 次を検索(N)

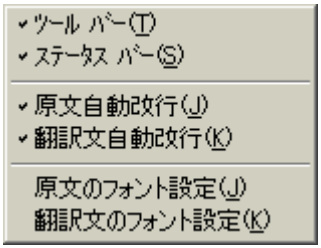
現在のウィンドウにある文字を次々と検索します。(F3)

(9) 置換(E)

現在のウィンドウにある文字を他の文字に置換します。(Ctrl+H)



2-3 表示(V)



(1) ツールバー(T)

ツールバーのアイコンを ON/OFF します。

(2) ステータスバー(S)

ウィンドウの下段のステータスを ON/OFF します。

(3) 原文の自動改行(J)

原文ファイルのウィンドウのサイズに合わせて改行します。

(4) 翻訳文の自動改行(K)

翻訳文ファイルのウィンドウのサイズに合わせて改行します。

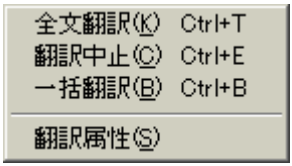
(5) 原文のフォント設定

原文ファイルのフォントの種類を設定します。

(6) 翻訳文のフォント設定

翻訳文ファイルのフォントの種類を設定します。

2-4 翻訳(T)



(1) 全文翻訳

全体の文書を日本語に翻訳します。範囲指定された文書はその部分の文書のみ翻訳されます。

(2) 翻訳中止

進行中の翻訳を中止して、現在まで翻訳された結果だけを画面に出力します。

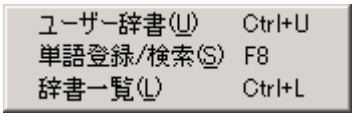
(3) 一括翻訳

ファイル単位で翻訳を進めます。

(4) 翻訳設定

翻訳形態、辞書名を指定します。

2-5 辞書(D)



(1) ユーザー辞書

ユーザーが作る辞書名を入力します。

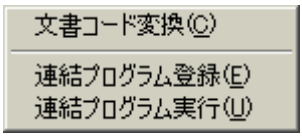
(2) 単語登録/検索

ユーザー辞書に登録する単語を入力します。

(3) 辞書一覧

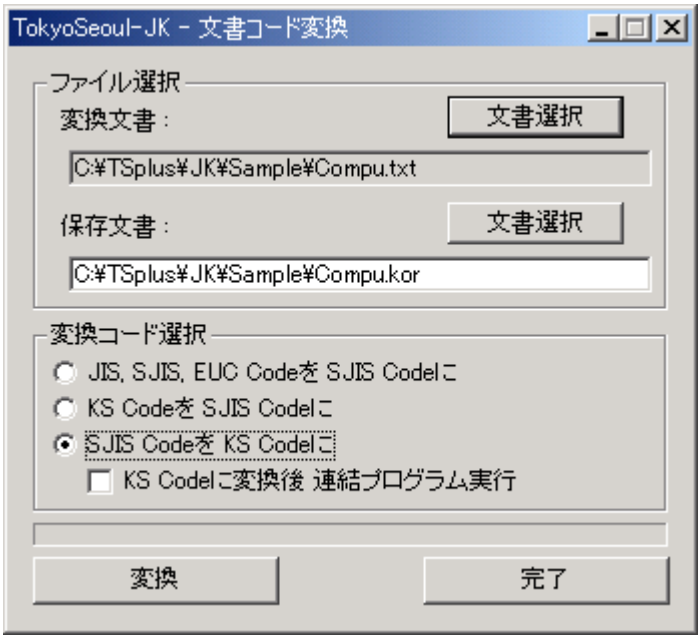
辞書に登録されている単語を一つの画面で表示して修正することができます。

2-6 オプション(S)

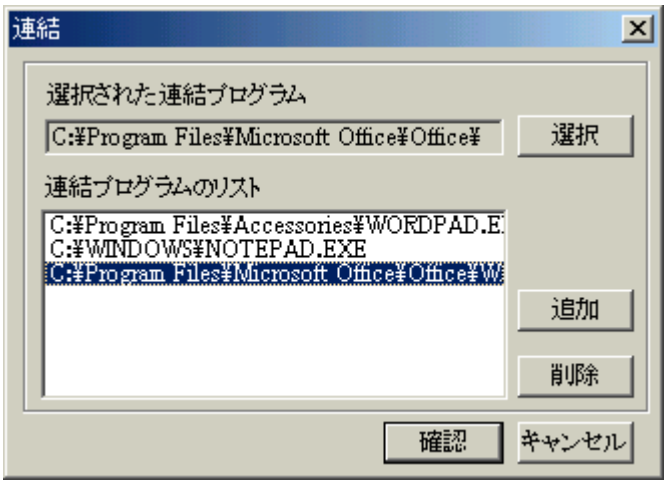


(1) 文書コード変換

「東京↔ソウル-JK」は原文(日本語文書)が JIS, SJIS, EUC コードの場合、SJIS コードに変換し、ハングル KS コードを日本語 SJIS に、日本語 SJIS コードをハングル KS に変換します。コード変換するファイルを入力文書に登録しコード変換が終わったファイル名を出力文書に登録します。ファイルの経路が確実ではない場合には「文書選択」をクリックして探してください。変換コード選択で該当項目を選んでコード変換ボタンをクリックするとコード変換が始まります。


TokyoSeoul-JK - 文書コード変換
ファイル選択
変換文書 :
文書選択
C:¥TSplus¥JK¥Sample¥Compu.txt
保存文書 :
文書選択
C:¥TSplus¥JK¥Sample¥Compu.kor
変換コード選択
JIS, SJIS, EUC Codeを SJIS Codeに
KS Codeを SJIS Codeに
SJIS Codeを KS Codeに
KS Codeに変換後 連結プログラム実行
変換
完了

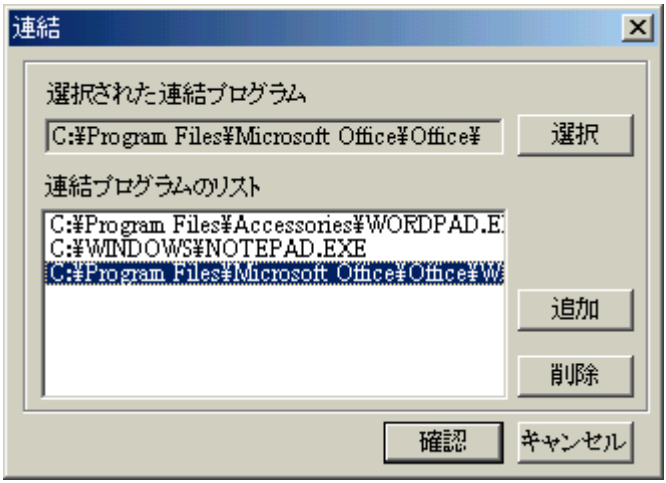
(2)連結プログラム登録


連結
選択された連結プログラム
C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office¥
選択
連結プログラムのリスト
C:¥Program Files¥Accessories¥WORDPAD.E
C:¥WINDOWS¥NOTEPAD.EXE
C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office¥W
追加
削除
確認
キャンセル

訳文ウィンドウに出力された内容を他のワード等の外部プログラムで編集したい場合には、 連結プログラム登録を実行すると連結ダイアログボックスが出ます。「追加」ボタンを押すと「ファイルを開く」ダイアログボックスが出てきます。

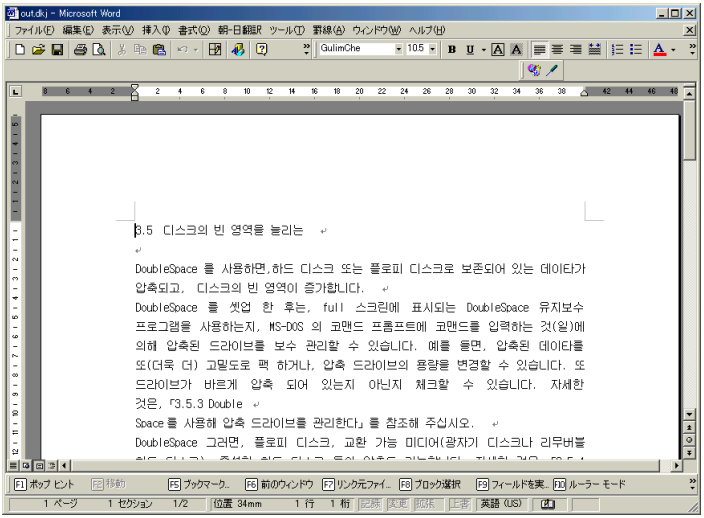
「ファイルを開く」ダイアログボックスから外部プログラムの実行ファイルを選択して「開く」ボタンを押すと、プログラムのリストに追加されます。以上の操作を繰り返し、必要なプログラムをいくつか追加します。プログラムのリストから使用したいプログラムを選択した後「選択」ボタンを押すと登録が完了されます。

例えば MS Word プログラムを登録したい場合には「文書選択」ボタンを利用して実行ファイルを探し、次のように登録します。



(3) 連結プログラムの実行

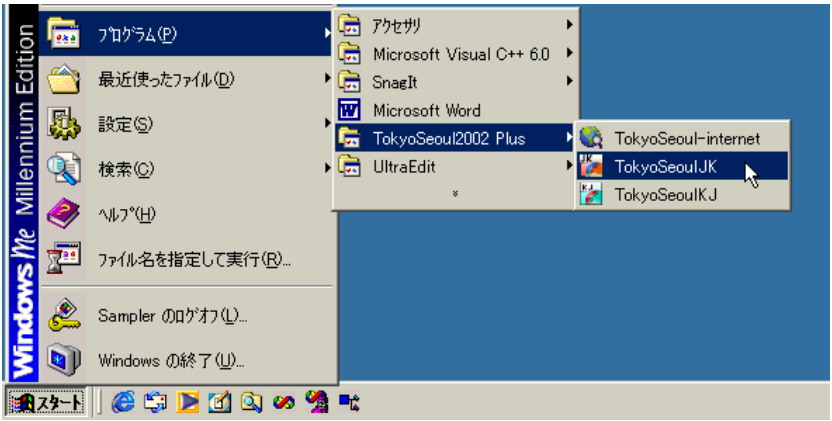
翻訳結果を外部プログラムに転送します。

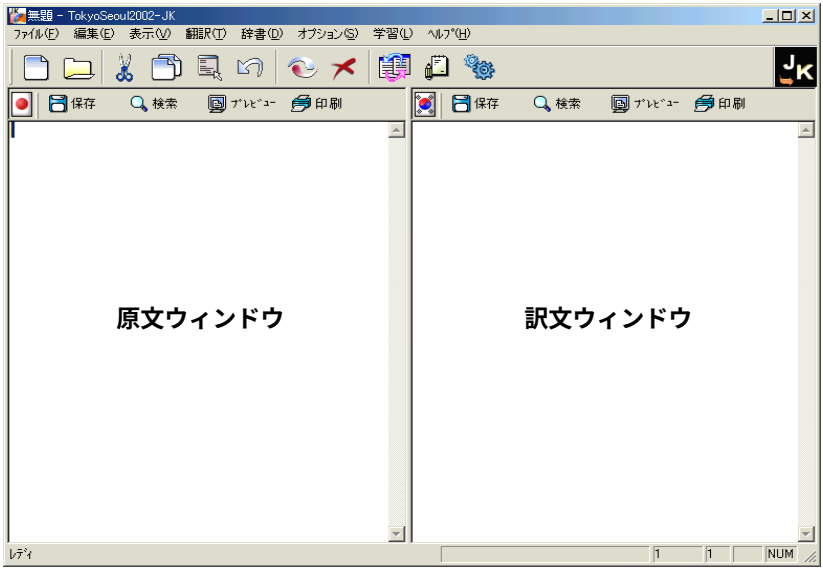


第 3 章 操作方法

3-1 翻訳実行

(1) スタートメニューから「東京↔ソウル-JK」を実行します。





(2) 翻訳したい日本語文書を原文ウィンドウに入力します。

■ ファイルから呼び出します。

1. メニューバーからファイル(F)ー開く(O)を実行します。
2. ファイルを開くダイアログから読み込むファイルを選択します。
3. ファイルを開くダイアログの「OK」ボタンをクリックすると選択したファイルが読み込まれます。

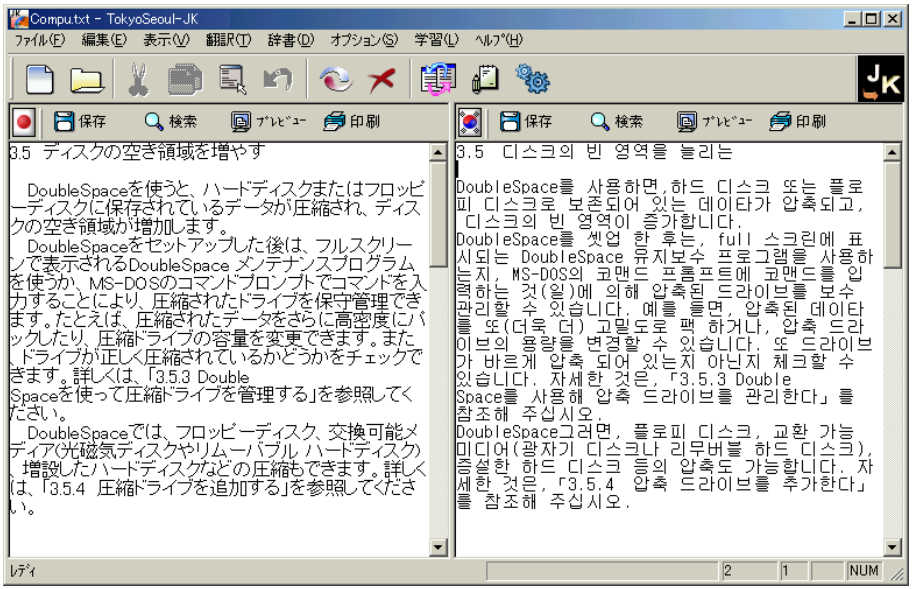
■ キーボードで直接タイプします。

原文ウィンドウにあるカーソルの位置にキーボードから翻訳する日本語の文を入力します.

(3) 翻訳を実行します。

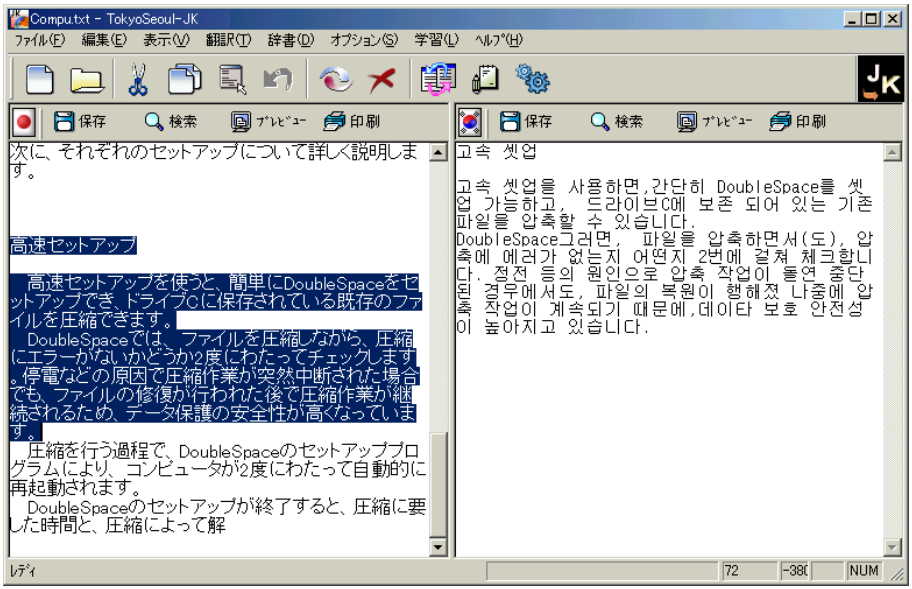
■ 全文を翻訳する場合

メインメニュー「翻訳(T)」の「全文翻訳」、またはツールバーの翻訳アイコンを選択してください。翻訳を中止する場合にはツールバーの翻訳中止アイコンをクリックすると翻訳が中止されます。

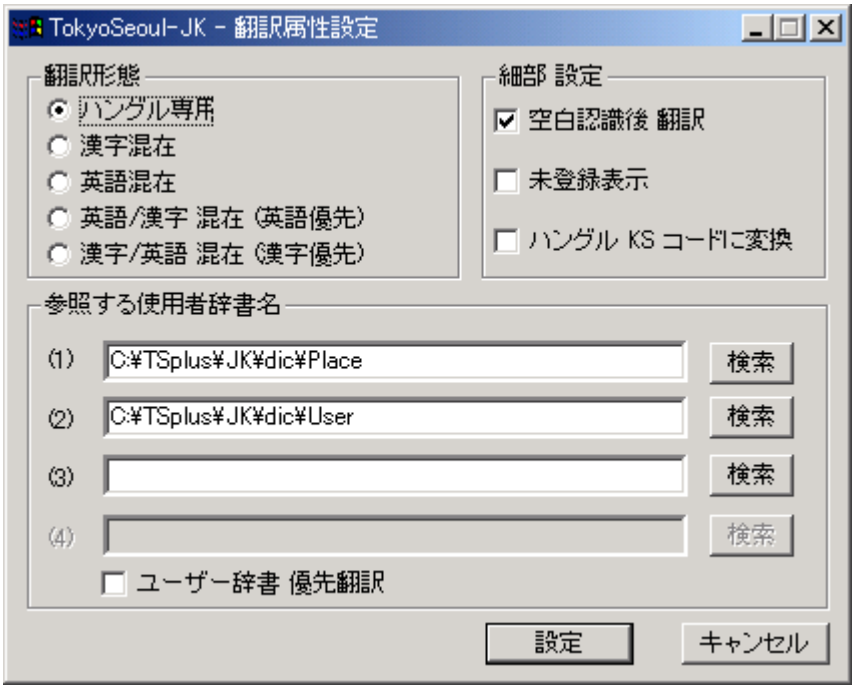


■ 一部の文章を翻訳する場合（部分翻訳）

当該領域をマウスでドラッグ選択して翻訳アイコンを押すと、選択された領域だけが翻訳されます。


Comput.txt - TokyoSeoul-JK
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 翻訳(T) 辞書(D) オプション(S) 学習(L) ヘルプ(H)
保存 検索 プレビュー 印刷
次に、それぞれのセットアップについて詳しく説明します。
高速セットアップ
高速セットアップを使うと、簡単にDoubleSpaceをセットアップでき、ドライブCに保存されている既存のファイルを圧縮できます。
DoubleSpaceでは、ファイルを圧縮しながら、圧縮にエラーがないかどうか2度にわたってチェックします。停電などの原因で圧縮作業が突然中断された場合でも、ファイルの修復が行われた後で圧縮作業が継続されるため、データ保護の安全性が高くなっています。
圧縮を行う過程で、DoubleSpaceのセットアッププログラムにより、コンピュータが2度にわたって自動的に再起動されます。
DoubleSpaceのセットアップが終了すると、圧縮に要した時間と、圧縮によって解
保存 検索 プレビュー 印刷
고속 셋업
고속 셋업을 사용하면,간단히 DoubleSpace를 셋업 가능하고, 드라이브C에 보존 되어 있는 기존 파일을 압축할 수 있습니다.
DoubleSpace그러면, 파일을 압축하면서(도), 압축에 에러가 없는지 어떤지 2번에 걸쳐 체크합니다. 정전 등의 원인으로 압축 작업이 돌연 중단된 경우에서도, 파일의 복원이 행해졌 나중에 압축 작업이 계속되기 때문에,데이타 보호 안전성이 높아지고 있습니다.
レディ
72
-38(
NUM

3-2 翻訳設定



(1) 翻訳文の形態

翻訳文の形態は次の 5 種類から選択します。

-ハングル専用

-漢字混在

-英語混在

-英語・漢字混在(英語優先)

-漢字・英語混在(漢字優先)

(2) 辞書名

辞書ファイルを登録します。辞書は最大 5 個まで設定でき、設定した順番より辞書を検索して翻訳します。辞書名は 48 字以下(Full Path 名を含む)で設定してください。東京↔ソウル-JK に含まれた基本辞書名(C:¥TSPlus¥JKPlus¥Dic¥Newdic)がデフォルトになっていると実際に設定できる辞書は 4 個です。

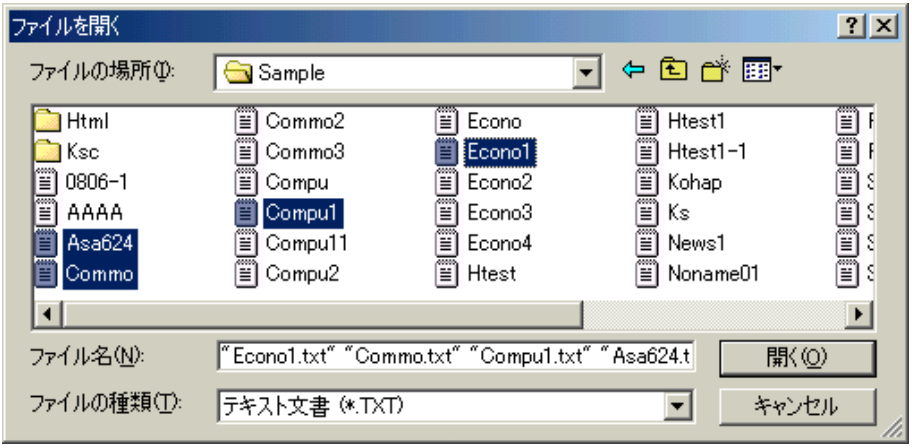
(3) ユーザー辞書優先がオンになっている場合には辞書優先順位がユーザー辞書が最優先になり、基本辞書(newdic)は次に適用されます。

3-3 一括翻訳

いくつかのファイルを一括翻訳する機能です。

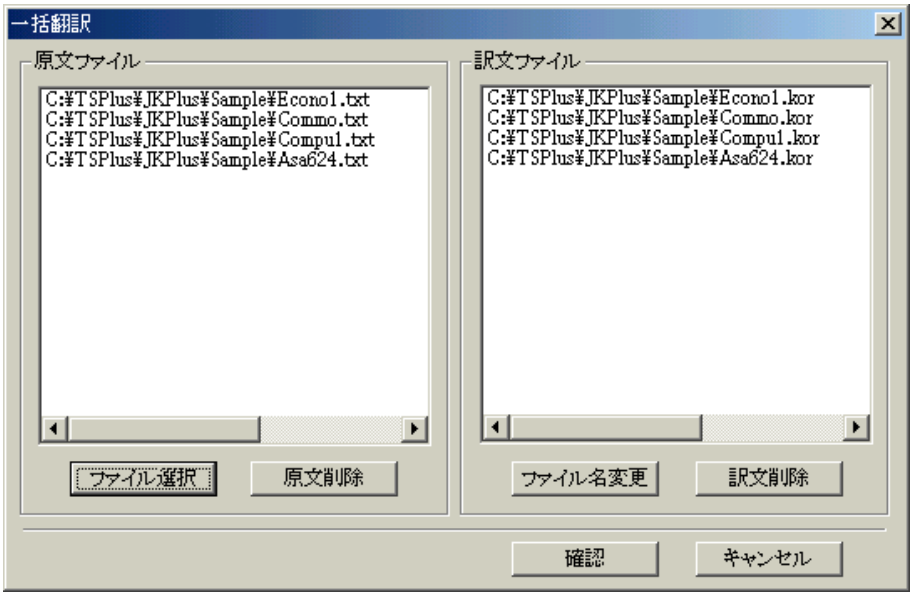
(1) メニューバーから「翻訳(T)」ー「一括翻訳」を実行します。

(2)一括翻訳ダイアログから「ファイル選択」ボタンをクリックして、 翻訳したいファイルを選択します。



(3) 選択したファイルが一括翻訳ウィンドウに登録されます。

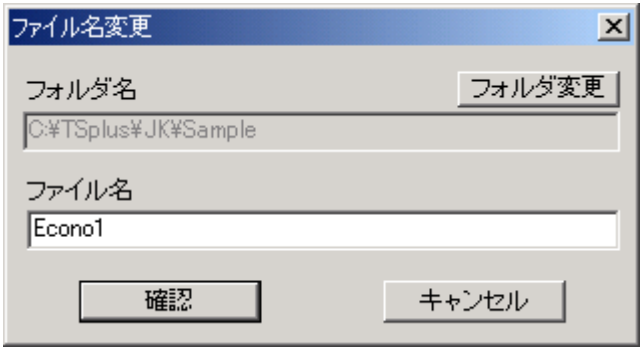
「確認」をクリックすると翻訳が開始されます。選択された文書の結果を保存する時、ファイル名は「原文ファイル名.kor」の形で翻訳文ファイルリストに追加されます。



(4) 原文削除

原文ファイルのリストから選択された文書を削除します。この際、対応する翻訳文ファイルも自動的に削除されます。

(5) ファイル名の変更



基本的に割り当てされた訳文ファイル名(原文ファイル名.dkj)を変更します。″翻訳文ファイル″ リストから翻訳したい項目を選択すると上のようなウィンドウが表示されます。ファイル名入力欄に新しいファイル名を入力して確認ボタンを押します。

(6) 訳文削除

翻訳文ファイルのリストから特定項目を削除します。この際、これに応じる原文ファイルも削除されます。

3-4 韓国語の発音表記

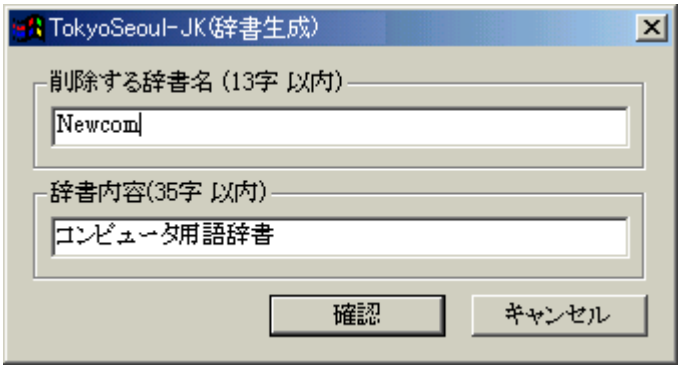
この機能は東京⇔ソウルLightからは削除されています。

第 4 章 辞書

4-1 ユーザー辞書

ユーザー辞書はユーザーが必要な辞書を作って必要な単語を登録する機能です。 基本辞書にない単語の場合など，ユーザーが単語を登録することによってユーザーの専門分野に相応しい翻訳をすることができます。例えば、専門分野が「化学」の場合には「chemical」というユーザー辞書を作り、関連単語を登録します。

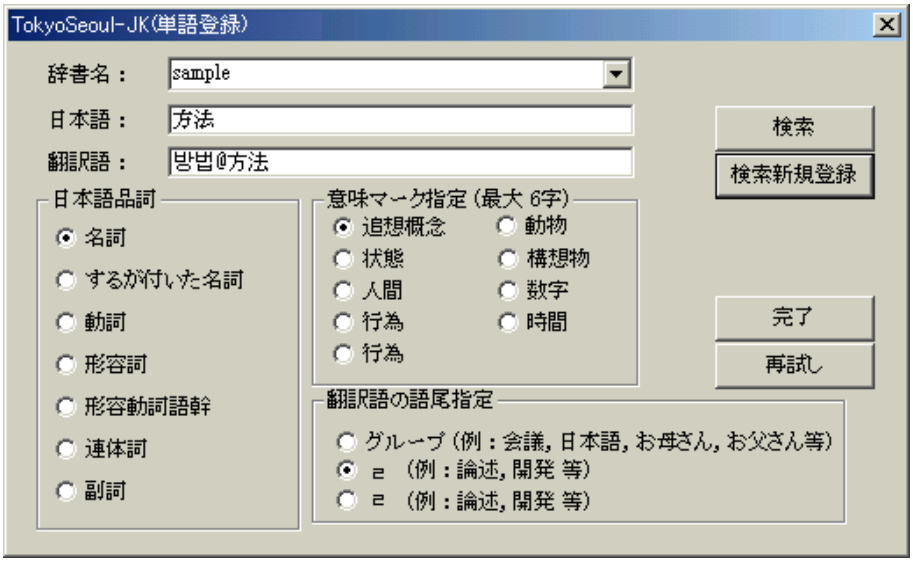
(1)ユーザー辞書を作る



① ユーザー辞書名は、13 字以内のファイル名を入力します。

② 辞書の説明を入力します。(35 字以内)

4-2 単語登録/検索



(1) 辞書名：辞書に登録するユーザー辞書名を選択します。

(2) 日本語：日本語の単語を入力します。'検索'のボタンを押すと、単語が既に登録されている場合、登録されている内容が表示されます。

(3) 翻訳語：翻訳語にはハングル翻訳語、漢字翻訳語、英語翻訳語を入力します。

表題語	ﾊﾝｸﾞﾙ 翻訳語	@	漢字 翻訳語	@	英語 翻訳語	翻訳属性設定
方法	방법					ハングル専用、漢字混在、英語混在を選択しても全て‘방법’で翻訳
方法	방법@方法					ハングル専用:‘방법’で翻訳 漢字混在:‘方法’で翻訳 英語混在:‘방법’で翻訳
トランク	트렁크@@trunk					ハングル専用:‘트렁크’で翻訳 漢字混在:‘트렁크’で翻訳 英語混在:‘trunk’で翻訳

※ 漢字および英字翻訳語の入力時に使用する@は全角文字で入力しなければなりません。

漢字および英字の入力時 :

@の入力時 :

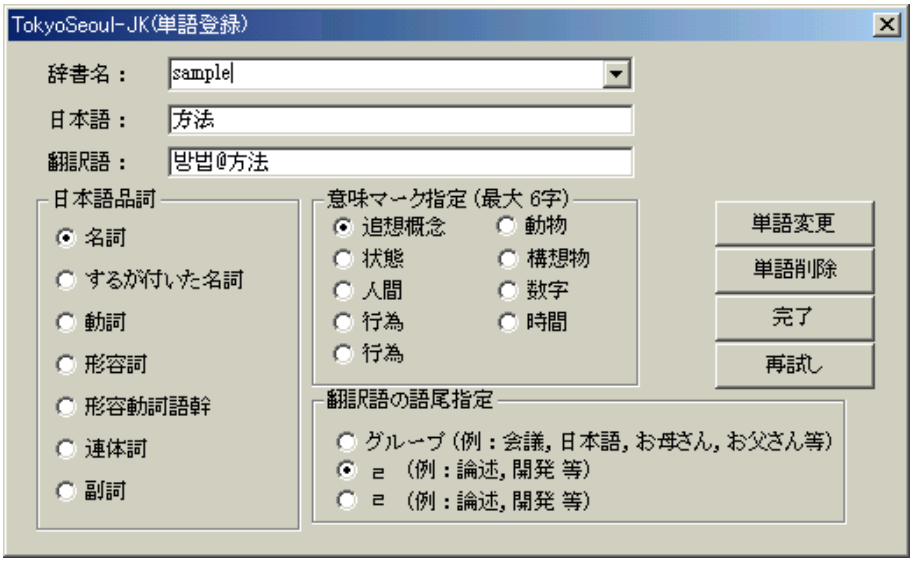
(4) 日本語品詞 : 日本語品詞を指定します。

(5) 品詞の意味に対する意味マーク、翻訳語語尾指定、活用を指定します。

(6) 新規登録を押すとユーザー辞書に登録されます。

4-3 単語変更

登録した単語の内容を修正する場合には、必要な事項を修正した後、「用語変更」を押すと修正された内容が辞書に登録されます。



4-4 辞書一覧

ユーザー辞書に登録された単語を検索する時に使います。一つ
の画に 10 個の単語が表示されます。単語を修正するときには
該当する単語にカーソルを置いて「単語更新」を選択してください。

4-5 品詞指定

日本語単語に対する品詞と共に活用形も記述します。「東京↔ソウル-JK」で指定できる日本語品詞は名詞、‘する’が付く名詞、形容動詞語幹、形容詞、動詞、副詞、連体詞などです。該当表題語(日本語)に対する品詞を指定すると、それに当たる訳語の品詞(韓国語)は自動的に指定されます。

次は各品詞の登録方法について説明します。

(1) 名詞

活用しない自立語で普通は一般名詞を示します。

① 固有名詞、人名、地名、 法人名などを含め、品詞の分けにくい特殊な場合は名詞として登録します。

（例: 思想、 紙、犬、船員、 空港、今日、日立製作所 など）

② 名詞として使われる動詞の連用形は名詞として登録します。

（例: 話す → 話し、歩く → 歩き、喜ぶ → 喜び）

③ 名詞+名詞、動詞の連用形+名詞のように複数の単語が一つの単語の意味を持つ場合は一つの単語として登録します。

④ 英語とカタカナも同じ基準で登録します。

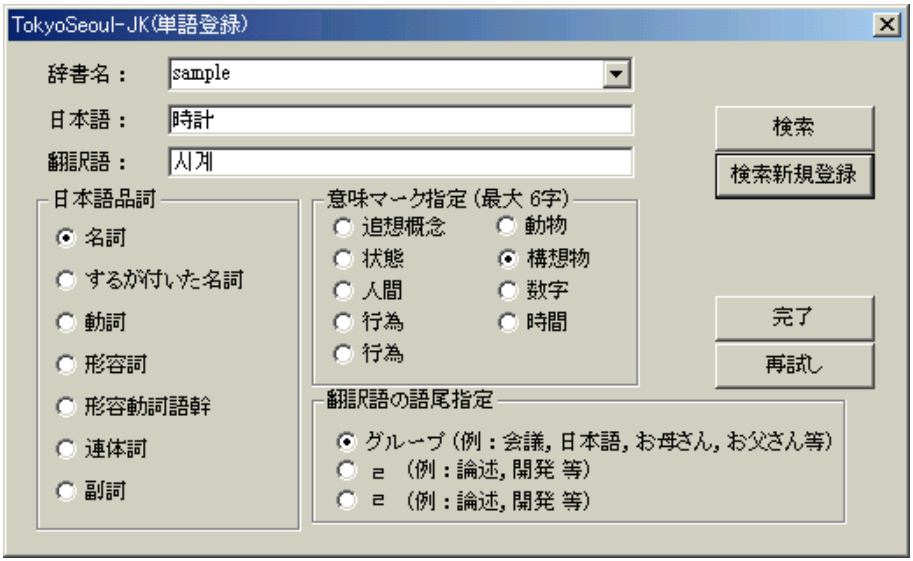
（例: desk、 building、 カミカゼ、プログラム など）

※ 活用しないで品詞の分けにくい場合は名詞として入力してください。

日本語	訳語	意味マーク	訳語の語尾指定
手	손	具象物	子音語幹
秋	가을	時間	ㄹ語幹
空港	공항	場所	子音語幹
大きさ	크기	抽象概念	母音語幹
コンピュータ	컴퓨터	具象 物	母音語幹
十七	17	数字	ㄹ語幹
落ち着き	침착성	抽象概念	子音語幹
考え方	사고방식	抽象概念	子音語幹

※ 訳語の語尾指定

訳語の 語尾指定	判断基準	実例
母音語幹	最後の文字の下に何も付いてない場合	회의、일본어、오사카、시계、국가、테이프 等
ㄹ語幹	最後の文字の下に“ㄹ”が付いている場合	두절、개발、별、사살、솔방울、수돗물 等
子音語幹	最後の文字の下に“ㄹ”以外の字が付いている場合	사전、사장、빌딩、야간、일본、옷 等



(2)‘する’が付く名詞

後ろに‘する’が付いて動詞になる名詞です。韓国語では‘하다’が付いて動詞として使われます。

※ 1) 日本語：“する”を除いた部分まで入力してください。

2) 訳　語：“하다”を除いた部分まで入力してください。

連用形、複数名詞は‘名詞’と同じ基準で登録します。

入力例> 貯蔵、発展、同意、発表、掃除、話し、買いだめ

日本語	訳語	意味マーク	最後単語の種類
主張	주장	抽象概念、行為、状態	子音語幹
開発	개발	抽象概念、行為、状態	“ㄹ”母音語幹
送付	송부	抽象概念、行為、状態	母音語幹

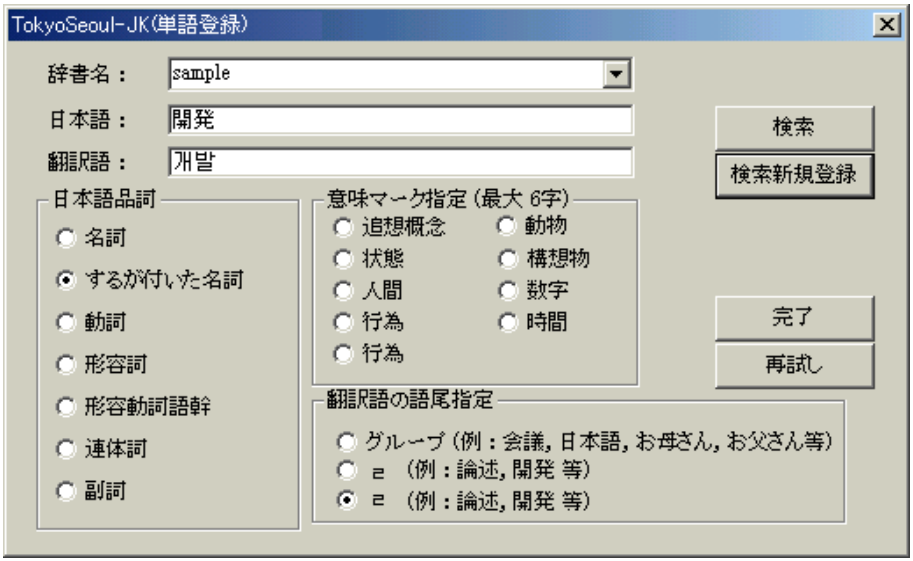
話し	이야기	抽象概念、行為、状態	母音語幹
買いだめ	매점	抽象概念、行為、状態	子音語幹

※ 意味マーク

名詞と ' する ' が付く名詞は適切な単語を選択するための意味マークが必要です。意味マークは六つまで登録できますので優先順位で指定してください。

意味マーク	判断基準
抽象概念	見えないもの(考え、思想、物価など)
動物	鳥、魚、貝、哺乳類、爬虫類、両生類、昆虫とその他の動物
具象物	見えるもの (本、自動車、紙、カバンなど)
人間	～で、～にを '～에게' に翻訳する場合 (先生、船員、相撲など)
場所	～でを '～에서' に翻訳します。(空港、駅、駐車場、上、下、右側など)
数字	数字と同じ意味を持つ言葉(複数、幾つ、十一など)
行為	行為を表す言葉(準備、実行、食事、耕作など)
時間	～にを '～에' に翻訳します。(年、月、時、季節、昨日など)
状態	～に、～でを '～로' に翻訳します。(変化、増大、停止、開始など)

「東京↔ソウル-JK」は構文対構文のダイレクト方式を利用し、意味マークと文章の内容などをチェックして単語を選択する「共起情報」を支援しますので必ず意味マークを指定してください。



(3) 形容動詞

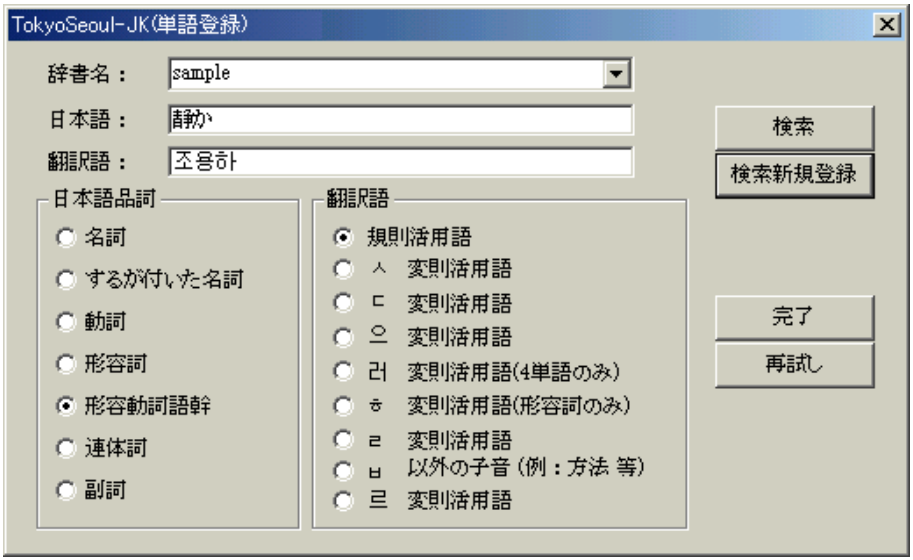
形容動詞の終止形は‘だ’の形となります。日本の形容動詞はハングルの形容詞に当たります。

※ 1) 日本語は‘だ’を除いた部分まで入力して下さい。
2) 訳語は‘다’を除いた部分まで入力して下さい。

入力例>きれい、静か、嫌い、好き、簡単

日本語	訳語	変則活用属性
簡単	간단하	正則活用語
楽	편안하	正則活用語
きれい	예쁘	“으”変則活用語

※ 訳語の正しい活用のため訳語活用欄に正確に指定して下さい。



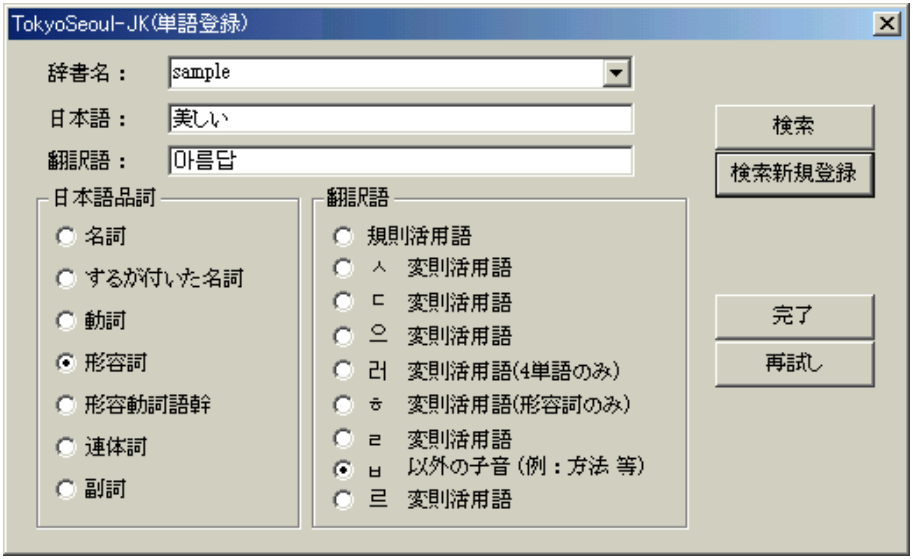
(4) 形容詞

形容詞の終止形は‘い’の形となります。変則活用の属性は活用形により連用形、連体形、未来形などに影響を与えるため正確に選んでください。

※ 訳語欄に語幹まで入力して下さい。

入力例> ひどい、早い、赤い、かわいい

日本語	訳語	変則活用属性
ひどい	심하	正則活用語
早い	빠르	‘르’変則活用語
赤い	빨갛	‘ㅎ’変則活用語
美しい	아름답	‘ㅂ’変則活用語
かわいい	예쁘	‘으’変則活用語



(5) 動詞

日本語の動詞は五段動詞、例外五段動詞、上/下一段動詞、サ変格動詞、カ変格動詞となっています。ユーザーが登録した動詞は各々の特性に合わせ、プログラム上で自動分類されます。

※ 訳語は '다' を除いた部分まで入力して下さい。

入力例> 書く → 쓰 (五段動詞)
入力例> 走しる → 달리(例外五段動詞)
入力例> 見る → 보、上げる → 들(上/下一段動詞)
入力例> する → 하(サ行変格)
入力例> くる → 오(カ行変格)

※ 正則活用及び変則活用

形容詞/形容動詞、動詞は正しい訳語活用のため活用形の指定が必要です。(形容詞、形容動詞、動詞のみ)

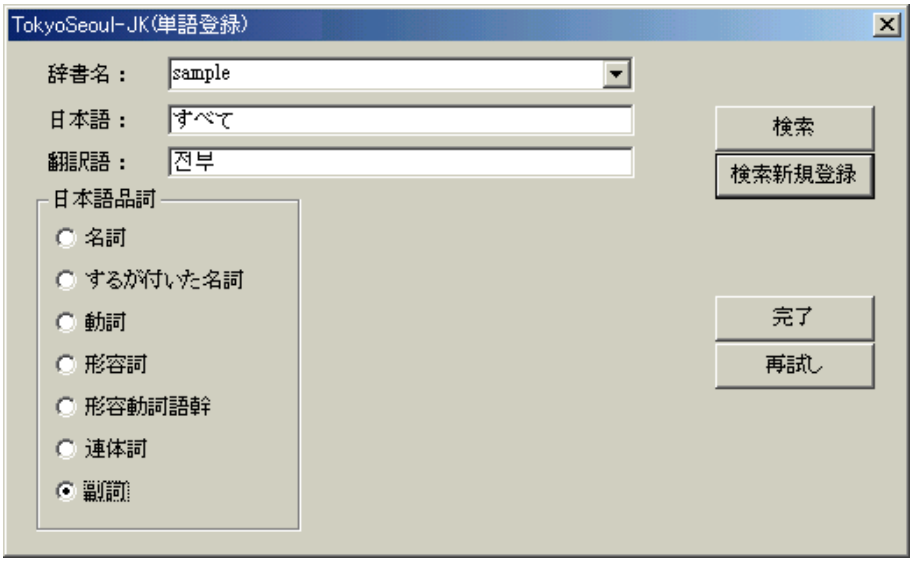
活用形	分類基準	活用例
正則活用	どんな語尾が付いても語幹の形は変わらない。	받다、먹다、만들다、하얗다
ㄹ変則活用	'ㅂ니다' が付くと語幹の 'ㄹ' が外れる。	울다 ->웁니다 길다 ->깁니다 멀다 ->멉니다
ㅅ変則活用	語幹の下の 'ㅅ' に母音の語尾が付くと外れる	낫다 -> 나으니、나아서 짓다 -> 지으니、지어서

ㅂ変則活用	語幹の後ろ音節の下‘ㅂ’は母音の語尾が付くと‘오’、‘우’に変わる。	뵙다 ->뵌、뵐 눕다 ->누운、누울 돕다 ->도운、도울
ㄷ変則活用	語幹の後ろ音節の下‘ㄷ’は母音の語尾が付くと‘ㄹ’に変わる	깨닫다 ->깨달으니까 걷다 ->걸으니까 듣다 ->들으니까
ㅎ変則活用	語幹の後ろ音節の下‘ㅎ’は‘-ㄴ、-ㄹ、-ㅁ、-ㅂ’の語尾が付くと外れるかまたは語幹と語尾が一緒に変わる。	빨갛다 ->빨가니까 하얗다 ->하야니까 까맣다 ->까마니까 파랗다 ->파라니까
으変則活用	‘ㅆ습니다’などが付くと語幹が‘어’‘아’に変わる。	따르다 ->따랐습니다 쓰다 ->썼습니다
러変則活用	語幹の後ろ音節‘르’に‘-어’が付くと‘-러’に変わる。	이르다 -> 이르러 푸르다 -> 푸르러 누르다 -> 누르러
르変則活用	語幹の後ろ音節‘르’に語尾‘-아,-어’が付くと‘으’が外れ、語尾‘-라、-러’に変わる。	오르다 -> 올랐습니다 부르다 -> 불렀습니다 흐르다 -> 흘렀습니다

(6) 副詞

副詞は用言および状態を示す品詞で動詞、形容詞、文章全体を修飾します。

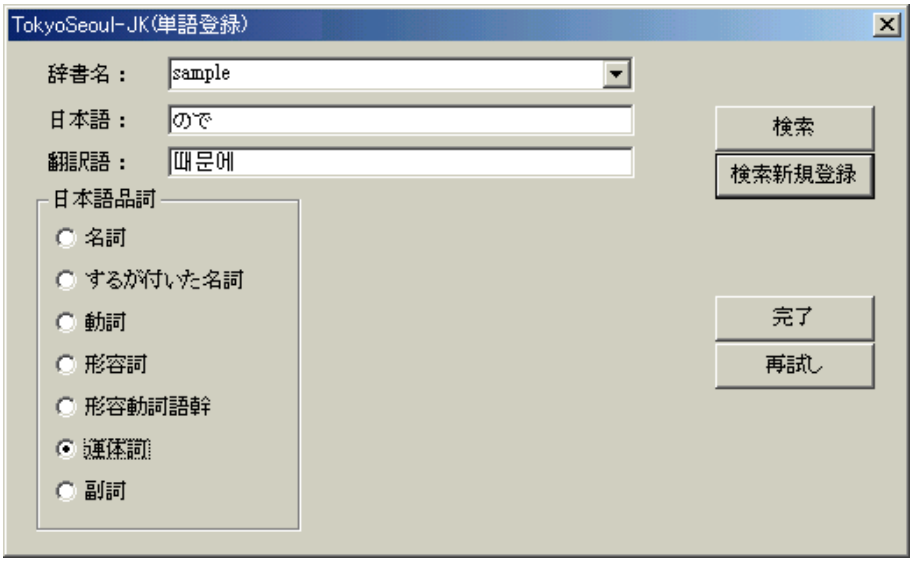
例>ずっと、どんどん、すべて、ぴかぴかと、ずらりと



(7) 連体詞

連体詞は体言だけを修飾する品詞として活用しません。

例>ある、去る、多くの、いわゆる


TokyoSeoul-JK(単語登録)
辞書名：
sample
日本語：
ので
翻訳語：
때문에
日本語品詞
名詞
する が付いた名詞
動詞
形容詞
形容動詞語幹
連体詞
副詞
検索
検索新規登録
完了
再試し

第 5 章　付録

5-1 システムの特徴

(1) 日·韓両言語に最適な翻訳方式を採用します。 日本語とハングルの類似点は次のようです。

- 日本語とハングルは語順が似ています。
- 助詞に当たる言葉が存在します。
- 用言が活用されます。

このような類似点から語と句、節を置換する構文ダイレクト方式に基づいた効率的な翻訳処理を実現しました。日韓機械翻訳システムの構成は次のようです。

- 日本語形態素の解釈

  漢字、仮名の混合文を単語別に分け品詞、活用形を設定します。
- 訳語の選択

  日本語の単語に対応するハングルを検索します。複数の訳語が検索された場合は最適の訳語を選択します。
- 語順の変更

  必要な処理、助詞選択、日本語活用形に対するハングル活用形を設定します。また、接続語の種類による助詞の表記を選択します。
- ハングル文句生成

  日本語の単語に対応するハングルを選択しハングル文句を生成します。

次は翻訳処理の例です。

日本語文: 私は本を買います。

（日本語形態素の解釈）

	私	は	本	を	買い	ます
品　詞	名詞	助詞	名詞	助詞	動詞	助動詞
活用形					連用形	終止形

（訳語選択）

	私	は	本	を	買い	ます
品　詞	名詞	助詞	名詞	助詞	動詞	助動詞
活用形					連用形	終止形
訳　語	나	는	책	을	사	ㅂ니다

（活用処理、助詞の選択）

	私	は	本	を	買い	ます
品　詞	名詞	助詞	名詞	助詞	動詞	助動詞
活用形					語幹	終止形
訳　語	나	는	책	을	사	ㅂ니다

（ハングル翻訳文句生成）

訳文 : 나는 책을 삽니다.

(2) 訳語を選択することができます。（共起情報）

一つの単語に対し必ず一つの訳語が存在するとは限りません。訳語が複数の場合はその中で最も適切な訳語を選択しなければなりません。

このシステムでは最も適切な訳語を選択するため共起情報という技術を用いています。

訳語の選択は訳語とその周辺のある言葉が一緒に表れる「共起情報」を参照して実行されます。

一つの単語に対し複数の訳語が存在する場合、各訳語の選択条件を記述します。

翻訳上で 助詞 <から>及び動詞<もとめる>の翻訳区分
このように二つ以上の訳語がある日本語表題語は、次のように事前登録と訳語の選択条件（共起情報）が必要となります。

から ： 訳語 1 (場所を示す日本語表題語に付く場合<～에서>に解釈) 訳語 2 (時間を示す日本語表題語に付く場合<～부터>に解釈) 求める: 訳語 1 (<얻다>) 訳語 2 (<사다>) 訳語 3 (<요구하다>)

共起情報技術を設定することによって次のように正確な翻訳ができます。

·「から」の共起情報適用の例

日本から来た人　　일본에서 온 사람

明日から仕事を始める。　내일부터 일을 시작한다.

·「求める」の共起情報適用例

解決策を求める。　　해결책을 구한다.

デパートで毛皮を求める。 백화점에서 모피를 산다.

面会を求める。　　면회를 요구한다.

☞「共起情報」入力は複雑な過程が必要となりますので、現在は支援していません。必要な単語に対する「共起情報」内容は基本辞書(newdic)に登録しました。

5-2 翻訳に適当な日本語文書

機械翻訳システムを通じて全ての文章が完璧に翻訳できるとはかぎりません。基本的には分りやすい文章(曖昧ではない文章)の方が機械翻訳でも翻訳率が高いです。

☞文章作成の際は次のような点に気を付けてください。

(1) 正しい日本語表現を使って下さい。

例) 処理速度は早い[早い]: ある動作を完了するのに要する時間が短い

処理速度は速い[速い]: すみやかである。速力が大である

授業を終わると.....終わるは自動詞なので“を”と一緒に使うのは正しくない。 ⇒授業が終わると....

(2) 口語ではなく文語を使って下さい。

例) 시스템 기술에 대해 설명해 보았다.

システム技術とか説明してみた。⇒ システム技術(など)について説明してみた。

좋은 날씨입니다.

いい天気ですね。 ⇒ いい天気です。

(3) 漢字語は必ず漢字で表記して下さい。

例) 접속한 워크스테이션을 통해 지시를 한다.

接続したﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝをとおして指示をする。

⇒接続したﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝを通して指示をする。

검색기능과 학습기능을 더한 소프트웨어

検索機能と学習機能をあわせたソフトウエア

⇒検索機能と学習機能を併せたソフトウエア

(4) 専門用語など翻訳辞書に載ってない単語は事前に登録して翻訳を行います。

(5) 敬語、謙譲語の完全な翻訳は現在バージョンでは支援できません。翻訳できる文章に書き直してから翻訳を実行させてください。

例) 데이터 전송방식에 대해 알려 주십시오.

データ転送方式についてご教示頂きたく、お願い申し上げます。

⇒ データ転送方式について教えて下さい。

(6) 日常語として使われる慣用句にはご注意下さい。

例) 彼は顔が広い。 그는 발이 넓다

⇒ 彼は有名だ。 그는 유명하다

(7) 括弧または句読点などの記号を含む文章は誤訳が生じる場合もあります。

◈ 詩、小説、ことわざなどの意訳、飾りの多い文学書籍などはなめらかに訳されない場合もありますので 、十分に検討して下さい。

付録

サポート関連

テクニカルサポート

すらすら翻訳　東京↔ソウルをご利用中、このガイドに記載されていない問題が発生した場合は共同開発社であるユニコテック株式会社ユーザーサポート係までご連絡ください。ただし、事前に製品登録を済ませておいてください。その後、下記の窓口へご連絡ください。

製品登録変更の場合

できるだけ速やかに、書面(手紙、FAX、葉書など)でお知らせください。
電話での変更はお受けいたしません。
なお、変更のご連絡は本書の「すらすら翻訳　東京↔ソウル」製品登録変更届けをご利用いただくと便利です。

ユニコテック株式会社ユーザーサポート係
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11
TEL ： 03-5840-9199
FAX ： 03-5840-5571
E-mail ： info@unikotech.com
URL ： www.unikotech.com

FAX 03-5840-5571
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11
ユニコテック株式会社ユーザーサポート係 行き

すらすら翻訳　東京↔ソウルに関するご意見ご要望書

- 記入日　　年　月　日
- 購入日　　年　月　日
- 登録番号　＿＿＿＿＿＿＿＿
- 住所　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- 登録名義　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
- 電話番号　＿＿＿＿＿＿FAX番号＿＿＿＿＿＿
- ソフト管理者　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

すらすら翻訳　東京↔ソウルに関するご意見ご要望
（使用上の問題点、追加改善したい機能、その他ご意見をご記入ください）

FAX 03-5840-5571
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11
ユニコテック株式会社ユーザーサポート係 行き

すらすら翻訳 東京↔ソウル製品登録変更届

- 記入日　　年　月　日
- 登録番号
- 登録名義
- 登録区分　（法人・個人・学校・学生/教職員・シルバー）

旧登録内容	変更項目	新登録内容
	ソフト管理者	
	住所	
	TEL	
	FAX	
	E－mail	

連絡先変更理由
□移転　□担当者変更
□その他（　　）